

Technics®



取扱説明書 活用ガイド

ワイヤレススピーカーシステム

SC-CX700

音楽は、国を越えて、世代を越えて、
人の心を揺さぶり続けます。
そして時代はいつも、
新しい感動を求めています。
まだ経験したことのない音との出会い。
音楽を愛するすべての人に、
再び心ふるわせる喜びを。

Rediscover Music™

Technics

最高水準の感動を、
世界へお届けできる時がきました。

Technics は、音と人との関係を大切に思い、
音楽を愛するすべての人に音楽の感動を提供し続け、
世界中の音楽文化の発展に貢献したいと考えています。
これが私たちの掲げたフィロソフィーです。
音をめぐる数々の出会いと経験が凝縮された今ここに、
Technics の理想をめざす、という確信が生まれました。
すべてにおいて最高クラスの品格と完成度をめざし、
世界中の人々から、憧れを抱いていただける、
幸せを感じていただけるブランドでありたいと願っています。

ディレクター
小川理子



このたびは、テクニクス製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(08～12ページ)を必ずお読みください。
- 保証書(別添付)は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

■本書内の表現について

- 参照していただくページを(⇒○○)で示しています。
- イラストや画面表示が実物と多少異なる場合がありますが、ご了承ください。
- 本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています。
- 本書における本体のイラストはブラックモデルのものです。
- 本書が扱う品番は以下の通りです。
 - プライマリースピーカー：SC-CX700P
 - セカンダリースピーカー：SC-CX700S

本機の特長

上質な音楽体験を レイアウトフリーで楽しめる

手触り感の良いスエード調人工皮革で包まれた左右のスピーカーは無線接続に対応。

部屋のセッティングに合わせた設置が可能です。

さらに部屋や設置環境による音質への影響を抑える Space Tune 機能を搭載。

専用アプリ「Technics Audio Center」を使用してより詳細な調整ができます。

テクニクスの高音質技術を結集

点音源・リニアフェーズ思想に基づく同軸スピーカーユニットと重心マウント構造、独自開発のフルデジタルアンプ技術「JENO Engine」、それらを理想的に一体化させるため、内部セパレート構造や、スピーカー歪み低減のための新技術 MBDC (Model Based Diaphragm Control) などあらゆる技術を導入し、音源に込められた情報を余すことなく再現、目の前に浮かび上がるような広大なサウンドステージを実現しました。

多彩な音楽ソースを 簡単な操作で楽しめる

各種オンライン音楽ストリーミングサービスをはじめ、HDMI ARC、PHONO などのデジタル・アナログ入力に対応。

また、Wi-Fi、Bluetooth® など豊富なネットワーク機能を搭載。専用アプリやリモコンを使って幅広い音楽コンテンツを快適に楽しめます。

もくじ

はじめに 07

安全上のご注意、取り扱いについて

各部の名前と働き 18

本体、リモコン

接続する 27

電源コードを接続する、ネットワークに接続する

音楽を楽しむ 38

接続した各種機器の音楽を再生する、音楽ストリーミングサービスを楽しむ

使いこなす 66

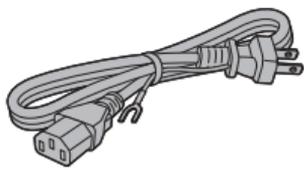
本機の設定を変更する

必要なとき 75

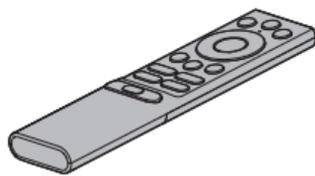
故障かな!?, 著作権、仕様、保証とアフターサービスなど

付属品

電源コード (2 本)
K2CF3YY00024



リモコン (1 個)
N2QAYA000257



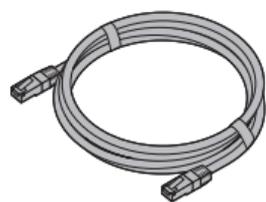
スピーカーネット (2 個)
TTJ0068



リモコン用乾電池
(単 4 形、2 個)



スピーカーリンクケーブル (約 3 m) (1 本)
K1HY08YY0059



- 付属品の品番は 2024 年 8 月現在のものです。変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- 本機を廃棄する場合は、地方自治体の条例に従ってください。

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイトでお買い求めいただけるものもあります。
詳しくはパナソニックの家電製品直販サイトをご覧ください。

パナソニックグループの
ショッピングサイト
<https://ec-plus.panasonic.jp/>



はじめに

安全上のご注意（必ずお守りください）.....	08
取り扱いについて	13
本機の設置	13
スピーカーネットを取り付ける	13
使用上のお願い	14
専用アプリ「Technics Audio Center」を 使う	14
お手入れ	15
ファームウェアを更新する	15
本機の設定をお買い上げ時の状態 （工場出荷設定）に戻すには	16
廃棄 / 譲渡するとき	16
ソフトウェアの利用に関し順守すべき 事項について	16
ネットワークサービスについて	17

目次 ... 05

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



電源プラグ
を抜く

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、電源プラグを抜く

- ・煙が出たり、異常なおいや音がする
- ・音が出ないことがある
- ・内部に水や異物が入った
- ・電源プラグが異常に熱い

・本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

・電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

・電源プラグがすぐ抜けるよう、本機は電源コンセントに容易に手が届く位置に設置してください。



電源コード・プラグを破損するようなことはしない

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)

傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

・抜くときは、プラグを持ち、まっすぐ抜いてください。

・コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない
たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因にもなります。

警告



アース端子を電源コンセントに差し込まない
火災・感電の原因になります。

アース線の接続、取り外しは、電源プラグを
コンセントに接続している状態では行わない
感電の原因になります。

- ・アース線の接続は、電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。
- ・アース線の取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

電池は誤った使いかたをしない

- ・指定以外の電池を使わない
- ・乾電池は充電しない
- ・加熱・分解したり、水などの液体の中へ入れたりしない
- ・⊕ と ⊖ を針金などで接続しない
- ・金属製のネックレスやヘアピンなどいっしょに保管しない
- ・⊕ と ⊖ を逆に入れない
- ・新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- ・被覆のはがれた電池は使わない
- ・火のそばや炎天下など高温の場所で使用・放置しない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

- ・電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- ・液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- ・液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

電池は、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- ・万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけた
りぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- ・油煙や湯気、水しぶきの当たるところ、湿気やほこりの多いところで使用しないでください。
- ・機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- ・特にお子様にはご注意ください。

警告



本機を天井から吊り下げたり、壁に掛けたりしない

落ちてけがの原因となることがあります。

自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで本機を使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から 15 cm 以内で本機を使用しない

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

病院内や医療用電気機器のある場所で本機を使用しない

本機からの電波が医療用機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

本機を操作ができない乳幼児や身体の不自由な方・高齢者が在室している場合は、遠隔操作は利用しない

けが・事故の原因になります。

前面のバスレフポートの穴にもものを入れない
火災やけがの原因になります。

・特にお子様にはご注意ください。



分解禁止

分解、改造をしない

・内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因になります。



使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

・電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

・傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

アース線の接続は確実にを行う

本機の電源プラグはアース付き 3 芯プラグです。機器の安全確保のため、アース接続は確実に行ってご使用ください。感電の原因になります。

・アース工事は専門業者にご依頼ください。

警告



宅外からの操作時には、本機やその周辺、在室する人など、事前に安全を十分確認する
けが・事故の原因になります。

遠隔操作ができなくても、人や財産に悪影響
がでないことを事前に確認する

運転や停止ができず、けがや事故、動植物に
悪影響を及ぼす原因になります。

ネットワークやインターネットの通信環境や
使用状況、ネットワーク障害などにより、遠
隔操作が利用できない場合がある

運転や停止ができず、けがや事故、動植物に
悪影響を及ぼす原因になります。

注意



不安定な場所に置かない

高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起
こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがの原因になるこ
とがあります。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとする
と、コードが傷つき、火災・感電の原因になる
ことがあります。

また、引っかかって、けがの原因になるこ
とがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりし
ない

倒れたり落下すると、けがの原因になるこ
とがあります。

・また、重量で外装ケースが変形し、内部部
品が破損すると、火災・故障の原因になる
ことがあります。

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災や誤動作の原因に
なることがあります。

・本機を新聞紙、テーブルクロス、カーテン
などで覆って放熱を妨げないでください。
・また、外装ケースが変形する原因にもなり
ますのでご注意ください。

異常に温度が高くなるところに置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になる
ことがあります。

・直射日光の当たるところ、ストーブの近く
では特にご注意ください。
・また、外装ケースや内部部品が劣化する原
因にもなりますのでご注意ください。

注意



油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

本機の上に火のついたロウソクのような裸火を置かない

磁気の影響を受けやすいものを近づけない

本体およびスピーカーネットには、強力なマグネットが使用されております。キャッシュカードや定期券、時計などが正しく動かなくなることがあります。

スピーカー前面振動板部に触れない

振動板がゆがみ正しい音が出なくなることがあります。

前面のバスレフポートの穴に手を入れない
けがの原因になります。

・特にお子様にはご注意ください。



接触禁止

雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない
感電の原因になります。



長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

スピーカーの移動時には必ず両手で持って移動する

落下すると、けがの原因になることがあります。

テレビ台やラックなどに置いたり、テレビの前に置いて使うときは、落下・転倒防止の処置をする

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

・落下・転倒防止処置は必ず工事専門業者にご依頼ください。

本製品は正面 / 左右両面にスエード調人工皮革を使っており、摩擦（特に湿った状態での摩擦）などで、他の衣類などに色移りが起こる場合があるため、商品の設置や移動の際は十分に注意する



電源プラグ
を抜く

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

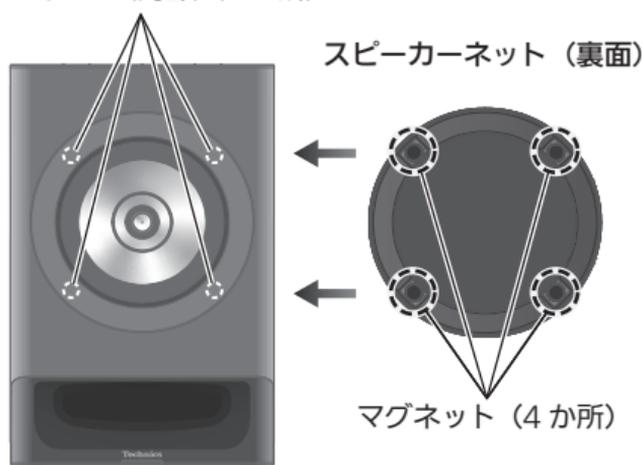
本機の設定

- 本機を移動させるときは、まず電源を切り、接続している機器をすべて取り外してください。また、引きずらず、持ち上げて移動してください。
- 熱源となるものの上に設置しないでください。
- 温度変化が起きやすい場所に設置しないでください。
- 不安定な場所に設置しないでください。
- ものを上に載せないでください。
- 狭い空間に設置しないでください。
- タバコの煙や、超音波式加湿器から噴霧された水分も故障の原因になりますのでお気をつけください。
- 本機は、温帯気候での使用を意図して設計されています。
- 設置場所が本機の重量に十分耐えられることをご確認ください。(⇒ 92)
- 本機の外形寸法 (⇒ 92)

スピーカーネットを取り付ける

本機は、スピーカーユニットをほこりから保護するスピーカーネットを付属しています。スピーカーネットは、マグネットでスピーカーに固定されます。

マグネット (内部) (4 か所)



- スピーカーユニット全体を覆うようにスピーカーネットを取り付けてください。
- スピーカーネットに上下左右の指定はありません。マグネットが合う部分で取り付けてください。
- 再生時にスピーカーネットを外した状態でご使用になるとより高音質でお楽しみいただけます。
- 本機を持ち上げるときは、スピーカーネットを持たないでください。

使用上のお願い

スピーカーを過大入力による破損から守るため、下記の注意事項をお守りください。

- 通常の使用時でも以下のような場合には、スピーカー破損の原因になることがありますので、音量を下げてご使用ください。
 - 再生音が歪んだとき
 - マイクやレコードプレーヤーのハウリング音、FM放送の局間ノイズ、発振器やテストディスク、電子楽器など、大きな信号が連続して加わる時
 - 音質調整をする時
- 大きな音量で連続して使用しないでください。スピーカー特性の劣化や寿命が極端に短くなる原因になることがあります。

専用アプリ

「Technics Audio Center」を使う

- お使いのスマートフォンやタブレットに専用アプリ「Technics Audio Center」(無料)をインストールすると、ネットワーク接続している機器にある音楽を本機で再生したり、インターネットに接続して、音楽ストリーミングサービスを利用し本機で再生することができます。
- 「Technics Audio Center」アプリの設定メニューから、本機の音質の調整や様々な設定をすることができます。
- 詳しくは下記をご覧ください。
jp.technics.com/support/

Technics



GET IT ON
Google Play



Download on the
App Store



- 本アプリは予告をしたうえで変更・停止する場合があります。
- お使いのスマートフォンやタブレットは、最新のソフトウェアアップデートを適用しておくことをお勧めします。

お手入れ

本体をお手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

天面 / 背面

- 乾いたやわらかい布で拭いてください。
- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤、化学雑巾は塗装がはげたり、変質する可能性がありますので使用しないでください。

前面 / 左右両面（スエード調人工皮革）

- 衣料用ブラシを軽くかけてください。
- 汚れがひどいときには、ぬるま湯にひたして固く絞った布で拭いてください。

お知らせ

- お手入れの際にスピーカー前面振動板部に触れないでください。
- 表面は強くこすらないでください。また、ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤、化学雑巾は使用しないでください。表面の変色や損傷の原因になります。
- 油性ペンや特殊な薬品類が付着すると落とすことができません。

ファームウェアを更新する

- 動作の改善や、新機能の追加のため、当社は本機のファームウェアを必要に応じて更新しています。これらのアップデートは無料でご利用できます。
- ファームウェアの更新については「ファームウェアを更新する」(⇒ 72) をご覧ください。

本機の設定をお買い上げ時の状態 (工場出荷設定) に戻すには

- ① プライマリースピーカーの電源プラグを抜く
 - ・ 30 秒以上たってから手順②を行ってください。
- ② プライマリースピーカーの本体の [⏻/|] を押しながら電源プラグを接続する
 - ・ 本体天面の左端の 2 つの LED インジケーター (NET/ 📶) が点灯し、「ピッ」と音が鳴るまで本体の [⏻/|] を押したままにしてください。
- ③ 本体の [⏻/|] を離す
 - ・ 初期化の進行状況は本体天面の LED インジケーターの点滅で表示します。初期化が完了すると、「ピー」と音が鳴り、本体天面の LED インジケーターすべてが 2 秒間点灯し、電源が切れます。
 - ・ プライマリースピーカーとセカンダリースピーカー間のペア登録情報を除く、すべての設定がお買い上げ時の設定に戻ります。

廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の設定に関する情報が記録されています。廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、お買い上げ時の設定に戻して、記録された情報を必ず消去してください。(⇒ 16)

- ・ アカウントの不正利用を防ぐために、本機を廃棄または第三者へ譲渡するときは必ず音楽ストリーミングサービスのアカウントをログアウトしてください。
- ・ 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

ソフトウェアの利用に関し順守すべき 事項について

本製品および本アプリをご利用いただくお客様に対し、当社は以下の内容に関わる注意事項をサイトで公開・周知しています。

- ・ 本製品に内蔵のソフトウェアの更新
 - ・ アプリなどを通じて当社が提供するサービス
 - ・ パーソナルデータの収集・利用・第三者への提供
 - ・ 当社以外の第三者が運営するサービス
 - ・ ソフトウェアライセンスの表示
 - ・ 当社以外の第三者と連携する本製品の機能およびサービス
- 詳しくは下記のサイトをご覧ください。

jp.technics.com/support/

ネットワークサービスについて

サービス事業者が提供するサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

すべての音楽ストリーミングサービスが利用できるわけではありません。音楽ストリーミングサービスを利用する場合は、登録 / 定期購入が必要になったり、使用料金が発生する場合があります。また、提供サービスは予告なく変更・停止する場合があります。詳しくは各音楽ストリーミングサービスのホームページをご覧ください。

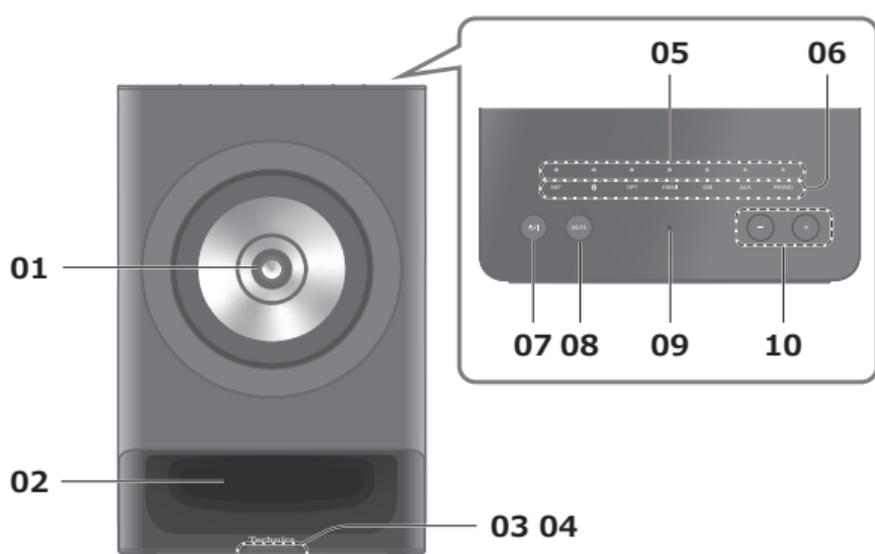
各部の名前と働き

本体前面	19
本体背面	21
リモコン	23
リモコンの電池の入れかた	25
リモコンモードを切り換える	25

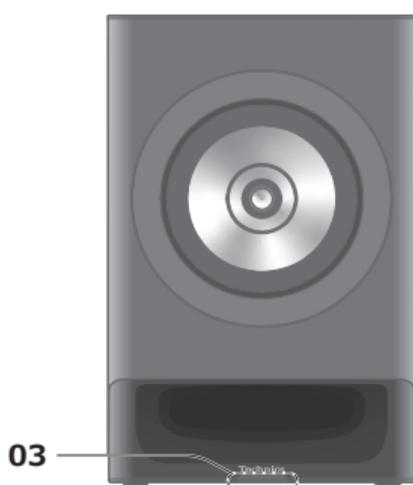
🔄 もくじ ... 05

本体前面

プライマリースピーカー



セカンダリースピーカー



01 スピーカーユニット（同軸 2 ウェイユニット）

02 バスレフポート

03 電源インジケーター

- 電源「入」時は、青色に点灯します。
- 電源「切」時は、消灯します。
- リモコンまたは「Technics Audio Center」アプリでの一部操作により、プライマリースピーカーの電源インジケーターが点滅します。
- 点灯 / 点滅の種類は、「05 LED インジケーター」(⇒ 20) をご確認ください。

04 リモコン受信部

- 受信範囲：
正面…約 7 m 以内、左右…各約 30°
- 受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。

05 LED インジケーター

- 選択されている入力ソースを表示します。また、LED インジケーター（NET）は、ネットワーク接続状態も表示します。（⇒ 32）

LED インジケーター / 電源インジケーターは、以下のような点灯 / 点滅の種類で、本機の動作や状態を示します。

消灯



一定間隔で点滅



点灯



ゆっくりと点滅



06 タッチスイッチ

- 入力ソースを押すと操作音が鳴り、入力ソースが切り換わります。
- 「Technics Audio Center」アプリの設定メニューから、操作音のオン・オフを切り換えることができます。

07 電源ボタン (I/O)

- 電源を入 / 切します。

08 消音ボタン (MUTE)

- 一時的に消音します。
- もう一度押す / 本機の音量を調節する / 本機の電源を切 / 入すると解除されます。
- 消音中は本体前面の電源インジケーターと天面のLED インジケーターが点滅します。なお、LED インジケーターは現在の音量を表示します。

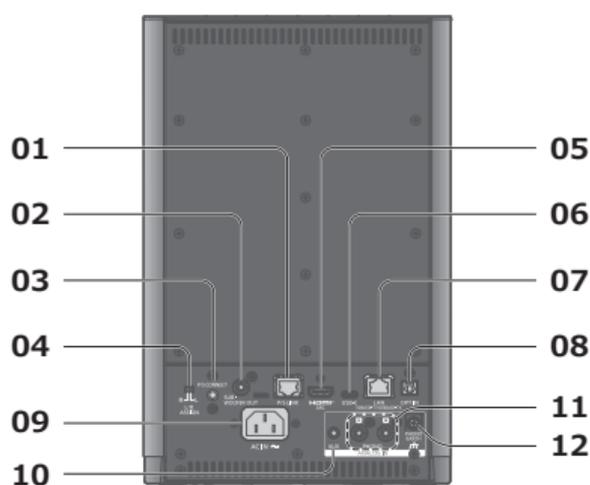
09 内蔵マイク（測定用）

10 音量ボタン (-/+)

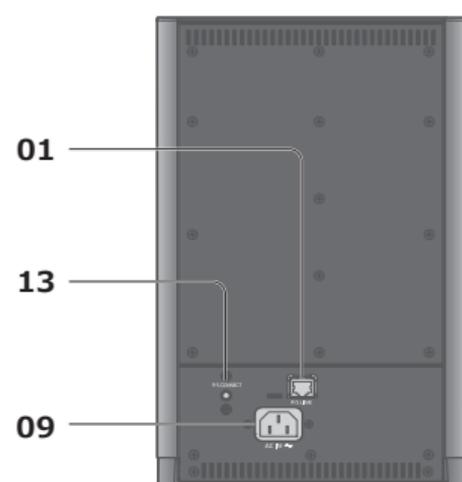
- 音量を調節します。
- 調節範囲：0（最小）～ 100（最大）
- 電源を入れたとき、または音量を調節したとき、本体天面の7個のLED インジケーターで現在の音量の目安を表示します。
 - 音量が大きくなるのに合わせて点灯するLED インジケーターが左から右に増えていきます。
 - 音量を操作しても点灯するLED インジケーターの個数が変わらない場合があります。
 - 音量値は「Technics Audio Center」アプリで確認することができます。
 - 音量が最小値または最大値に到達すると、「ピピ」と音が鳴り、それを超える操作を行うと、LED インジケーター（NET または PHONO）が3回点滅します。

本体背面

プライマリースピーカー



セカンダリースピーカー



01 スピーカーリンク端子 (P/S LINK)

- ・プライマリースピーカーとセカンダリースピーカーを有線で接続するときは、スピーカーリンクケーブル（付属品）で接続します。（⇒ 29）

02 アナログ音声出力端子 (SUBWOOFER OUT) （⇒ 74）

サブウーハーをアナログ音声ケーブル（市販品）で本機に接続して、音声を出力することができます。

- ・「Technics Audio Center」アプリの設定メニューから、音声出力の設定ができます。（お買い上げ時の設定は「On」です。）

03 P/S CONNECT ボタン (プライマリースピーカー)

- ・プライマリースピーカーとセカンダリースピーカーが無線接続されない場合、手動で接続するために使用します。（⇒ 29）
- ・プライマリースピーカーとセカンダリースピーカーは、お買い上げ時に無線ペア登録済ですが、修理・交換した場合など、再度ペア登録するために使用します。（⇒ 85）

04 L/R 割り当てスイッチ (L/R ASSIGN)

- ・プライマリースピーカーのL/R（左 / 右）をどちらかに設定すると、セカンダリースピーカーはその反対に設定されます。（⇒ 28）

05 HDMI 端子 (HDMI ARC)

(⇒ 45)

ARC 対応のテレビなどの HDMI 機器を HDMI ケーブル (市販品) で本機に接続して、機器の音楽を再生することができます。

- 周辺機器に接続するときは、Premium High Speed HDMI Cable を使用してください。

06 USB-C 端子 (USB-C)

(⇒ 48)

- パソコンなどを本機に接続して、音楽を再生することができます。

07 LAN 端子

(⇒ 33)

08 光デジタル入力端子 (OPT IN)

(⇒ 43)

デジタル出力機器を光デジタルケーブル (市販品) で本機に接続して、機器の音楽を再生することができます。

09 AC 入力 (〜) 端子

(⇒ 30)

10 アナログ音声入力端子 (AUX)

(⇒ 50)

アナログ出力機器をアナログ音声ケーブル (市販品) で本機に接続して、機器の音楽を再生することができます。

11 アナログ音声入力端子 (PHONO)

(⇒ 50)

レコードプレーヤーを PHONO ケーブル (市販品) で本機に接続して、機器の音楽を再生することができます。

12 PHONO EARTH 端子

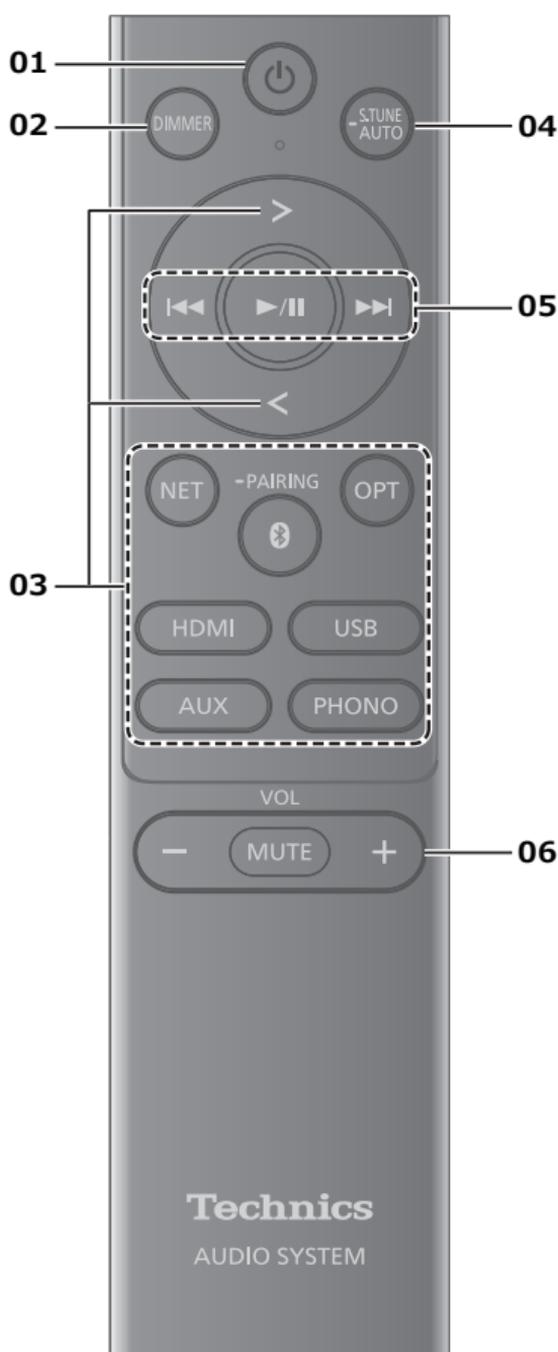
(⇒ 50)

- レコードプレーヤーのアース線を接続します。

13 P/S CONNECT ボタン (セカンダリースピーカー)

- プライマリースピーカーとセカンダリースピーカーは、お買い上げ時に無線ペア登録済ですが、修理・交換した場合など、再度ペア登録するために使用します。(⇒ 85)

リモコン



- 01 [] :
本機の状態（電源入 / 切）を切り換える
- 02 [DIMMER] :
電源インジケータ / LED インジケータの明るさを変える
- [DIMMER] を 4 秒間押したままにすると、すべての LED インジケータと電源インジケータが消灯します。もう一度押すと解除されます。
 - 完全消灯に設定しているときでも、操作時には一時的に LED インジケータ / 電源インジケータが点灯 / 点滅します。
- 03 [>]/[<]/[NET]/[]/[OPT]/[HDMI]/[USB]/[AUX]/[PHONO] :
本機の入力ソースを選ぶ
- 04 [S.TUNE AUTO] :
Space Tune 機能を使って音質の調整を開始する (⇒ 67)
- 05 再生操作ボタン

06 [-VOL+] :

音量を調節する

- 調節範囲 : 0 (最小) ~ 100 (最大)
- 電源を入れたとき、または音量を調節したとき、本体天面のLEDインジケータが(音量が大きくなるのに合わせて左から右に)点灯し、現在の音量レベルを表示します。

[MUTE] :

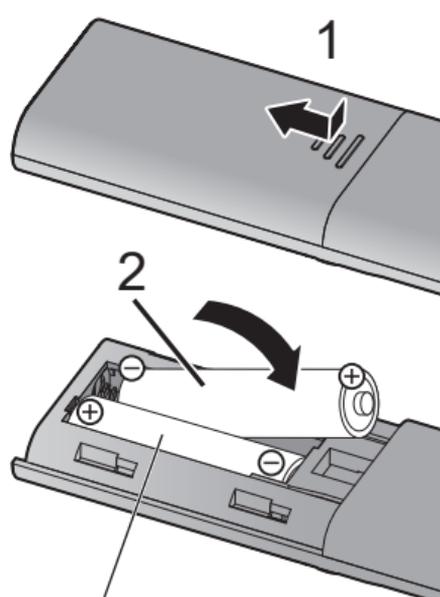
一時的に消音する

- もう一度押す / 本機の音量を調節する / 本機の電源を切 / 入すると解除されます。
- 消音中は本体前面の電源インジケータおよび天面のLEDインジケータが点滅します。なお、LEDインジケータは現在の音量を表示します。

お知らせ

- 本機を操作する場合は、本機が見える位置で行ってください。

リモコンの電池の入れかた



単 4 形乾電池（付属）

お知らせ

- ⊕ ⊖ を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。
- 本体のリモコン受信部（⇒ 19）に、まっすぐに向けて操作してください。
- 不要になった電池を捨てるときは、地域条例に従って処理してください。

ショートによる液もれ・発熱・破裂の原因になりますので、端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。

リモコンモードを切り換える

リモコンを操作すると、他の機器にも影響してしまうことがあります。このときは、リモコンモードを変更してください。

- お買い上げ時の設定は「Mode 1」です。

1 [AUX] を押して入力ソースを「AUX」に切り換える

2 音量を最小にする

3 本体側のリモコンモードを変更する

「Mode 1」にする場合：

本体の音量ボタンの [-] を押しながら、リモコンを本体に向けてリモコンの [NET] を 4 秒以上押し続けたままにする

「Mode 2」にする場合：

本体の音量ボタンの [-] を押しながら、リモコンを本体に向けてリモコンの [OPT] を 4 秒以上押し続けたままにする

- 完了すると、本体天面の LED インジケータ（「Mode 1」：NET/  /OPT、「Mode 2」：USB/AUX/PHONO）が 2 秒間点灯し、「ピー」と音が鳴ります。

4 リモコン側のリモコンコードを変更する

「Mode 1」にする場合：

リモコンの [MUTE] と [NET] を 4 秒以上押したままにする

「Mode 2」にする場合：

リモコンの [MUTE] と [OPT] を 4 秒以上押したままにする

- LED インジケータや電子音でのお知らせはありません。

接続する

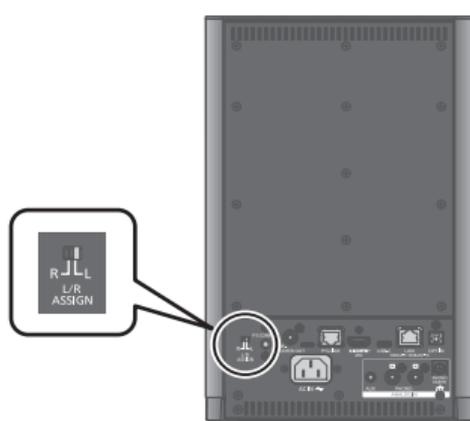
スピーカー設定	28
スピーカーの接続.....	28
電源コードを接続する	30
電源コードの接続.....	30
ネットワークに接続する	32
有線 LAN 接続.....	33
無線 LAN 接続.....	34

[🔄 もくじ ... 05](#)

スピーカーの接続

L/R（左 / 右）の設定

本機は、お客様の設置環境に合わせて、2台のスピーカーをそれぞれL/Rどちらにも割り当てることができます。



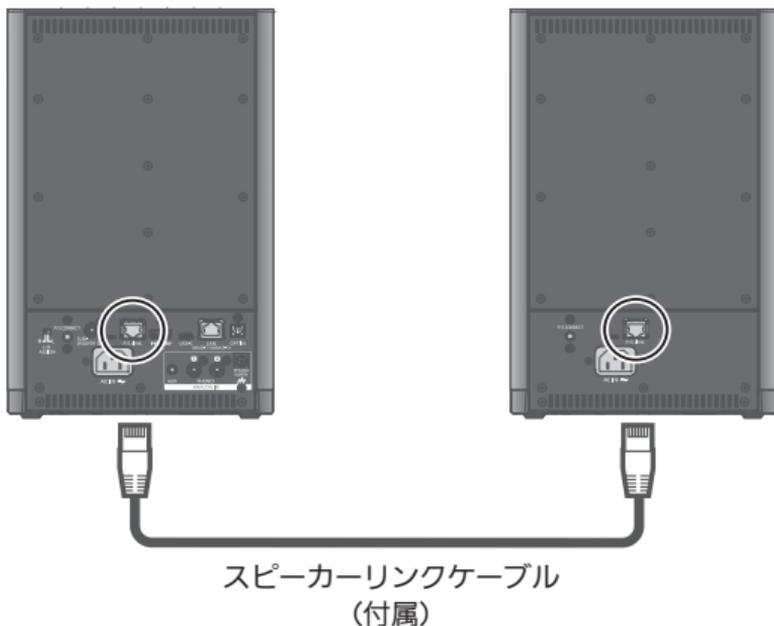
- プライマリースピーカーのL/Rをどちらかに設定すると、セカンダリースピーカーはその反対に設定されます。
- 電源「切」の状態ですピーカーの割り当て(L/R)を設定後、本機の電源を入れてください。

スピーカーの接続

プライマリースピーカーとセカンダリースピーカーに電源コードを接続し、プライマリースピーカーの電源を入れると、スピーカー同士は自動的に無線接続されます。接続が確立すると、両スピーカーの前面の電源インジケータが点灯します。

お知らせ

- 接続できなかった場合、本体前面の電源インジケータが3回点滅します（3秒周期で繰り返します）。電源を切/入して、再接続してください。また、プライマリースピーカーのP/S CONNECT ボタンを2秒間押し続けて手動で接続することもできます。（本体天面のすべてのLEDインジケータが点滅します。）それでも接続できない場合は、両スピーカーの電源プラグを抜き、30秒以上たってから再度電源プラグを接続して、本機の電源を入れてください。
- より高音質※で楽しみたい場合や、接続が安定せずセカンダリースピーカー側で音途切れやノイズが発生する場合は、スピーカーリンクケーブル（付属）を使って有線接続にてお使いください。

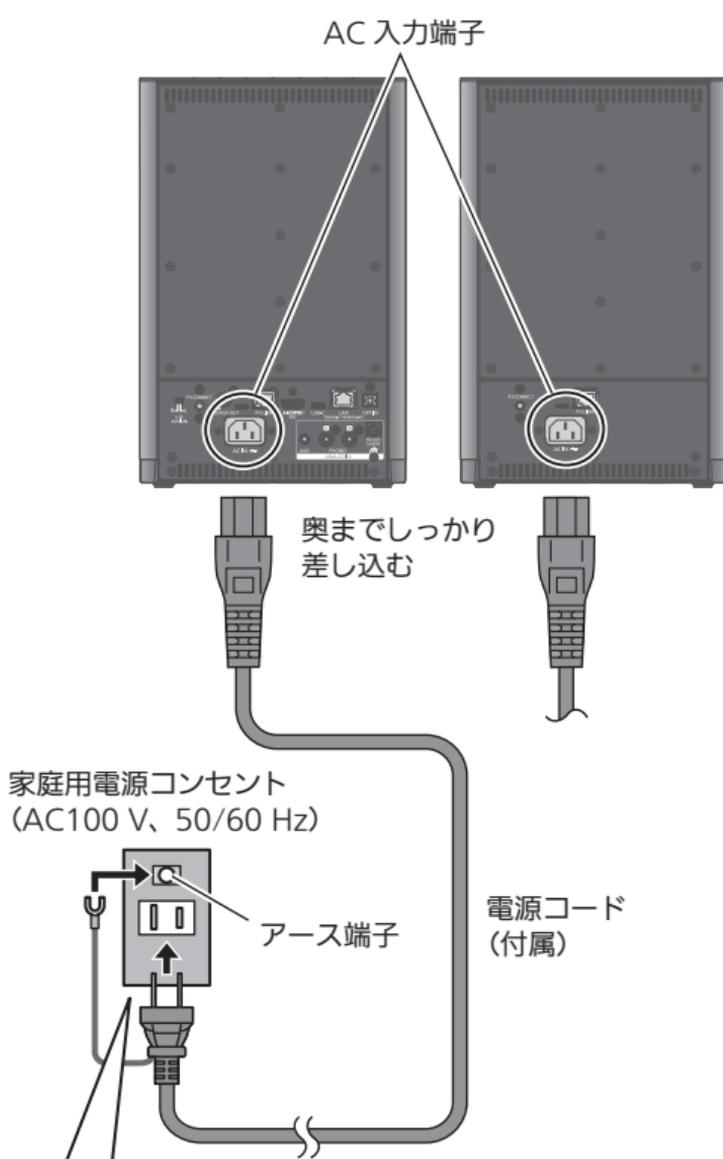


※ 有線接続時は最大 192 kHz / 24 bit、無線接続時は 96 kHz / 24 bit のサンプリングレートで伝送できません。

電源コードを接続する

電源コードの接続

電源コードはすべての接続が終わった後、接続してください。



電源プラグのアース線側を、コンセントの差し込み口の長い方に合わせて差し込むと良い音質を得られることがあります。

(ご家庭の電源コンセントによっては、差し込み口の一方が長くなっていないものもありますが、その場合はどちらの向きに差し込んで問題ありません。)

- 電源コードは、必ず付属のものをご使用ください。
- ケーブルを急な角度で折り曲げないでください。
- お買い上げ後、初めて本機の電源を入れると、Wi-Fi 設定が開始され、本体天面の LED インジケータ (NET) が点滅します。
 - Wi-Fi 設定を停止するときは、本体天面のタッチスイッチを押して入力ソースを切り換えてください。
 - Wi-Fi 設定が有効のときは、ネットワーク接続が完了しないと、電源を入れるたびに本体天面の LED インジケータ (NET) が点滅します。ネットワーク機能を使用しない場合は、リモコンの [NET] を押したままにすると、本体天面の LED インジケータ (NET/Bluetooth/OPT) が 2 秒間点灯して「ピー」と音が鳴り、Wi-Fi 設定が無効になります。再度リモコンの [NET] を押したままにすると、本体天面の LED インジケータ (USB/

AUX/PHONO) が 2 秒間点灯して「ピー」と音が鳴り、Wi-Fi 設定が有効になります。

- LAN ケーブルが接続されている場合は、Wi-Fi 設定は開始しません。(本体天面の LED インジケーター (NET) は点滅しません)
- 電源を入れると現在の音量レベルが表示されます。(ネットワーク接続が確立されていない場合は、本体天面の LED インジケーター (NET) が点滅します。)

お願い

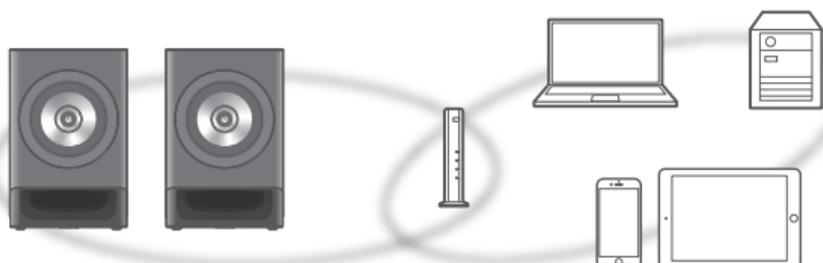
- 電源プラグがすぐに抜ける位置にあるコンセントをお使いください。
- アース線先端のキャップを外し、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前にアース接続を行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

お知らせ

- 本機の電源を「入」にすると、プライマリースピーカーの電源インジケーターが先に点灯し、本機の電源を「切」にすると、セカンダリースピーカーの電源インジケーターが先に消灯します。
- 本機が電源「切」状態でも、電源は完全には切れません。長期間使用しないときは、節電のため電源プラグをコンセントから抜いておくことをお勧めします。本機が電源「切」状態でも、電力を消費しています。(電源「切」時の消費電力 ⇒ 92)

ネットワークに接続する

本機をインターネットにつながったネットワークに接続することにより、音楽ストリーミングサービスやネットワーク機器にある音楽などを本機でお楽しみいただけます。



本機は、ブロードバンドルーターと有線 LAN または無線 LAN (Wi-Fi®) で接続することができます。

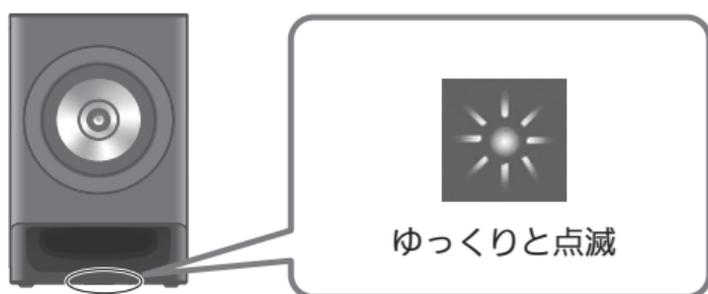
ネットワーク接続時の安定した再生のためには有線 LAN をお勧めします。

お知らせ

- ネットワーク接続完了後、入力ソースを「NET」に切り換えると、本体天面の LED インジケータ（NET）は点灯します。（ネットワーク接続が確立されていない場合は点滅します。）
- 新しいファームウェアがある場合は、電源を入れた後 1 分間、10 秒周期で電源インジケータがゆっくりと点滅してお知らせします。

–ファームウェアの更新内容については下記のサイトをご確認ください。

jp.technics.com/support/firmware/



- 本機は、電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することはできません。本機をインターネットに接続するときは、必ずルーターなどを経由して接続してください。

■準備する

お使いのスマートフォンやタブレットに「Technics Audio Center」アプリをインストールして、接続設定ができます。

- Google Cast™ 対応アプリから本機で音楽を再生する場合、「Technics Audio Center」アプリから接続設定を行ってください。
- AirPlay の機能を使って本機で音楽を再生する場合、Apple Home アプリのホームに本機を追加してください。Apple Home アプリから接続設定をした場合、Siri を使用して音楽再生をすることもできます。
- お使いのスマートフォンやタブレットの Wi-Fi 機能と Bluetooth® 機能を「入」にしてください。

1 お使いのスマートフォンやタブレットに「Technics Audio Center」アプリをインストールする (⇒ 14)

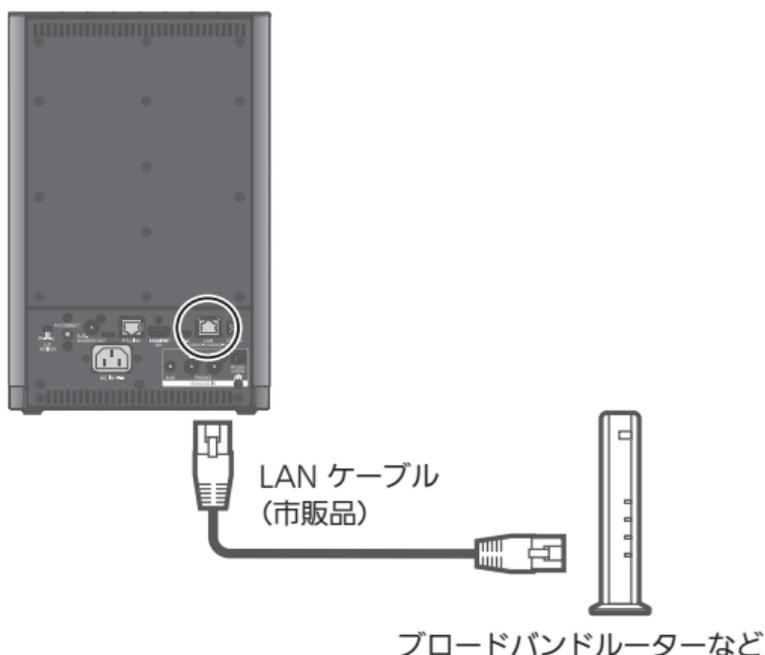
- すでに「Technics Audio Center」アプリをインストールしている場合は、最新版にアップデートしてください。

2 本機を接続するネットワークに、あらかじめスマートフォンやタブレットを接続しておく

- インターネットにつながったネットワークに接続してください。



有線 LAN 接続



1 本機の電源コードを抜く

2 本機とブロードバンドルーターなどを LAN ケーブルで接続する

3 本機に電源コードを接続する (⇒ 30)

4 [電源] を押して電源を入れる

- ネットワーク接続が確立されていない場合は、入力ソースを「NET」に切り換えると、本体天面の LED インジケータ (NET) が点滅します。手順 1 から設定をやり直してください。

5 「Technics Audio Center」アプリを起動して 画面の指示に従って操作する

お知らせ

- LAN ケーブルの抜き差しは電源コードを取り外した状態で行ってください。
- カテゴリ7 LAN ケーブル STP ストレート結線（シールドタイプ）をご使用ください。
- LAN ケーブル以外（電話のモジュラーケーブルなど）を挿入しないでください。故障の原因になります。
- LAN ケーブルを接続して電源を切 / 入すると、Wi-Fi 接続が無効になる場合があります。
- 有線 LAN で公衆通信回線に接続する場合、電気通信事業法の認定を受けた端末設備（有線 LAN ルーター、回線端末装置）に接続してください。

無線 LAN 接続

■準備する

- ① 本機の電源コードを抜く
- ② LAN ケーブルを取り外す
- ③ 本機に電源コードを接続する（⇒ 30）

お知らせ

- ネットワーク設定は、時間がかかると中止されることがあります。その場合、設定をやり直してください。
- 無線ネットワークの接続や設定操作を中止するには本体天面のタッチスイッチを押して入力ソースを切り換えてください。
- 本機は 2.4 GHz 帯と 5 GHz 帯の周波数帯で使用することができます（⇒ 93）。ネットワークへの接続は、802.11ac または 11n（2.4 GHz/5 GHz 同時使用可）のブロードバンドルーターの使用をお勧めします。
- 無線 LAN 接続が完了すると、プライマリースピーカーの電源インジケータおよび天面の LED インジケータすべてが 2 秒間点灯します。
- Wi-Fi 設定が有効のときは、ネットワーク接続が完了しないと、電源を入れるたびに本体天面の LED インジケータ（NET）が点滅します。ネットワーク機能を使用しない場合は、リモコンの [NET] を押したままにすると、本体天面の LED インジケータ（NET/  /OPT）が 2 秒間点灯して「ピー」と音が鳴り、Wi-Fi 設定が無効になります。再度リモコンの [NET] を押したままにすると、本体天面の LED インジケータ（USB/AUX/PHONO）が 2 秒間点灯して「ピー」と音が鳴り、Wi-Fi 設定が有効になります。

アプリを使って初めて 無線セットアップをする

1 [電源] を押して電源を入れる

- 本体前面の電源インジケータおよび天面の LED インジケータ（NET）が、2 秒おきに同時に点滅します。

2 「Technics Audio Center」アプリを起動する

3 「新しい本体の無線セットアップはこちら」を選ぶ



4 本機を選び、画面の指示に従ってネットワークに接続する



お知らせ

- 本機の名前を設定していない場合、本機は「Technics-SC-CX700-****」と表示されます。（「****」は機器に固有の文字を表しています）
- 「Technics Audio Center」アプリからネットワーク情報（SSID、MAC アドレス、IP アドレス）を確認することができます。

無線セットアップを再設定する

- 1 本体天面の [NET] を 5 秒間、押したままにする
 - 「ピー」と音が鳴り、本体前面の電源インジケーターおよび天面の LED インジケーター (NET) が、2 秒おきに同時に点滅します。
- 2 「Technics Audio Center」アプリを起動する
- 3 「新しい本体の無線セットアップはこちら」を選ぶ



- 4 本機を選び、画面の指示に従ってネットワークに接続する



お知らせ

- 本機の名前を設定していない場合、本機は「Technics-SC-CX700-****」と表示されます。(「****」は機器に固有の文字を表しています)
- 「Technics Audio Center」アプリからネットワーク情報 (SSID、MAC アドレス、IP アドレス) を確認することができます。

オンラインの音楽ストリーミング サービスを聴く

本機では Google Cast に対応したアプリをお使いいただけます。Google Cast に対応したアプリの情報については下記のサイトをご覧ください。

g.co/cast/apps

また、「Technics Audio Center」アプリを使って、ネットワーク接続している機器にある音楽を本機で再生することもできます。「Technics Audio Center」アプリのインストールについては下記をご覧ください。(⇒ 14)

jp.technics.com/support/

また、iOS 機器などに保存した音楽を、AirPlay の機能を使って再生することもできます。

■準備する

- ネットワーク設定をする。(⇒ 32)
(音楽ストリーミングサービスを利用する場合は、インターネットにつながったネットワークに接続してください)
- お使いの機器（スマートフォンやタブレットなど）に対応したアプリをインストールする。
- 接続する機器をご家庭でお使いのネットワークに接続する。

1 お使いの機器（スマートフォンやタブレットなど）から Google Cast 対応アプリ、AirPlay 対応アプリまたは「Technics Audio Center」アプリを起動して本機を選択する

2 音楽を再生する

お知らせ

- 本機を操作する場合は、本機が見える位置で行ってください。

音楽を楽しむ

Bluetooth® 機器の音楽を再生する	40
再生中の操作	41
通信モードを切り換える	42
デジタル出力機器の音楽を再生する (OPT)	43
光デジタル出力機器を接続する	43
TV などの HDMI 機器の音楽を再生する (HDMI)	45
ARC 対応のテレビなどの HDMI 機器を 接続する	45
HDMI Control	46
パソコンなどの音楽を再生する (USB)	48
USB2.0 ケーブルで接続する	49
アナログ出力機器の音楽を再生する (PHONO/AUX)	50
PHONO ケーブル / アナログ音声ケーブルで接続する	51
アナログ音声の入カレベルを調節する 「AUX 入力レベル」	51
ネットワークサーバーの音楽を再生する	52
DMC から操作してネットワークサーバーの コンテンツを再生する	52
インターネットラジオ /Podcasts を 再生する	54
再生中の操作	55
Spotify Connect を使って音楽を 再生する	56
Deezer の音楽を再生する	59
再生中の操作	60
Roon Ready を使って音楽を再生する	57
再生中の操作	58
Amazon Music の音楽を再生する	61
再生中の操作	62

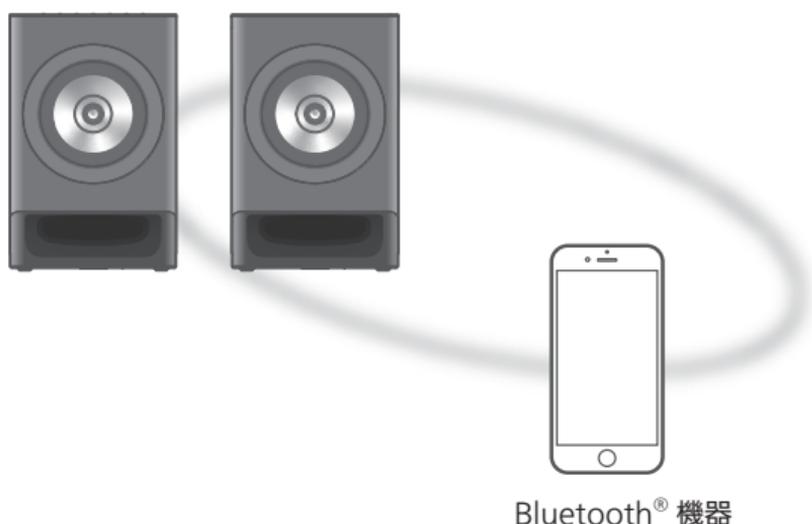
Google Cast 対応アプリを使って 音楽を再生する	63
AirPlay を使って音楽を再生する.....	64
再生中の操作.....	65

🔄 もくじ ... 05

Bluetooth[®] 機器の音楽を再生する

Bluetooth[®] に対応した機器を本機に登録して、機器の音楽を再生することができます。

- Bluetooth[®] 機器の詳細は、機器に付属の取扱説明書をお読みください。



■登録・接続する

- 本機と Bluetooth[®] 機器の電源を入れ、機器を本機に近づける。
- Bluetooth[®] 機器の Bluetooth[®] 機能を有効にする。
- 本機と他の Bluetooth[®] 機器がすでに接続されている場合、その機器の接続を解除してください。

1 [] を押す

- 初めて Bluetooth 機器に登録するときは、本体天面の LED インジケータ（）と前面の電源インジケータ（）が 2 秒おきに点滅します。すでにデバイスが登録されている場合、本機は自動的にその Bluetooth 機器に接続しようとしています。
- [] を押したままにしても登録待機状態になります。（本体天面の LED インジケータ（）が 2 秒おきに点滅します。）

2 Bluetooth[®] 機器側で Bluetooth[®] の接続画面などを開き、「Technics-SC-CX700-****」を選んで接続する

- 接続中は、本体天面の LED インジケータ（）が 1 秒おきに点滅します。
- 「Technics-SC-CX700-****」と表示される前に MAC アドレス「□□□□□□」（「□」は機器によって表示される固有の番号を表しています）が表示される場合があります。
- お使いのアプリから本機の名前を設定した場合は、設定した名前が表示されます。

お知らせ

- パスキーの入力を要求された場合は「0000」（ゼロ4つ）を入力してください。
- 登録できる Bluetooth® 機器は最大8台です。最大登録数を超えて登録すると、Bluetooth® 接続した順番が古いものから上書きされるため、機器の登録が解除されることがあります。再度お使いいただくには、登録をやり直してください。
- 「Bluetooth」（📶）以外の入力ソースが選ばれると、Bluetooth® 機器の接続が解除されます。

■機器を再生する

1 [📶] を押す

- Bluetooth® 機器の登録、接続が完了しているときは、本体天面の LED インジケーター（📶）が点灯します。（接続中は点滅します。）

2 Bluetooth® 機器側で Bluetooth® の接続画面などを開き、「Technics-SC-CX700-****」を選んで接続する

- お使いのアプリから本機の名前を設定した場合は、設定した名前が表示されます。

3 Bluetooth® 機器側を操作して音楽を再生する

お知らせ

- 動画コンテンツを再生する場合、本機の音声は Bluetooth® 機器の映像よりも遅れることがあります。
- 本機を操作するときは、本機が見える位置で行ってください。
- 同時に接続できる Bluetooth® 機器の台数は1台です。

再生中の操作

一時停止	[▶/] • 再開するには [▶/] を押す
曲を飛ばす (スキップ)	[◀◀] [▶▶]

お知らせ

- 本機と Bluetooth® 機器を接続し、本機のリモコンで操作する場合、Bluetooth® 機器が AVRCP (Audio Video Remote Control Profile) に対応している必要があります。お使いの機器やその状態によっては、操作できない場合があります。

通信モードを切り換える

「Technics Audio Center」アプリの設定メニューから、通信モード（Mode1 / Mode2）を切り換えることができます。「Technics Audio Center」アプリを起動して「Bluetooth Link Mode」を選び、画面の指示に従って設定してください。

Mode1：

通信の安定性を重視

Mode2：

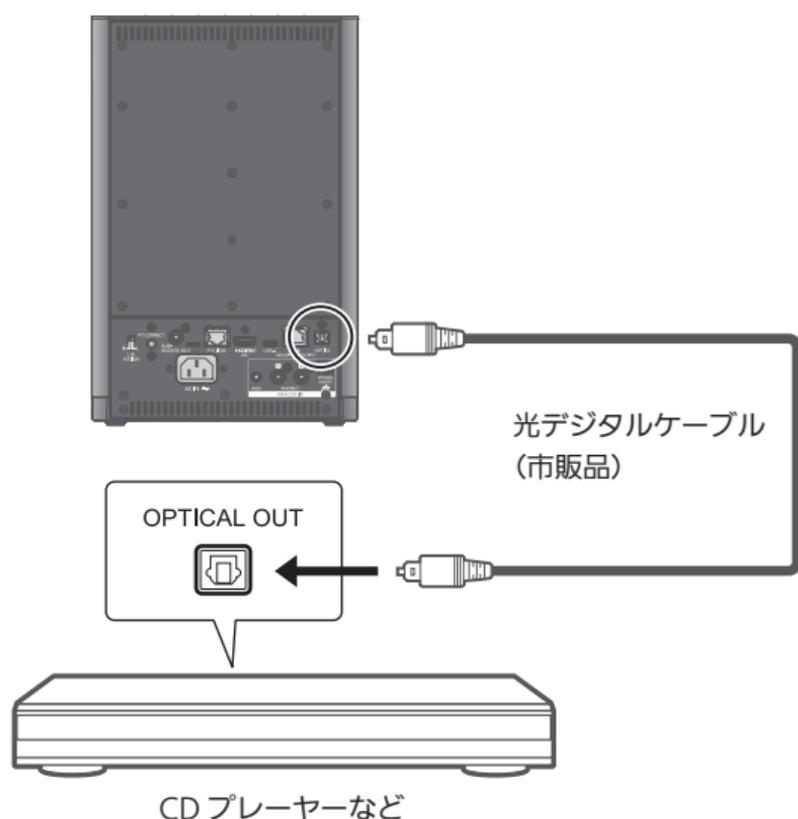
音質を重視（お買い上げ時の設定）

お知らせ

- 音が途切れる場合は「Mode1」に設定することで改善される場合があります。
- ワンセグ対応の携帯電話等によっては、その機器の仕様や設定により、音声再生されなかったり、ノイズが発生する場合があります。その場合、本機の通信モードを「Mode1」に設定することで改善される場合があります。

デジタル出力機器の音楽を再生する (OPT)

デジタル出力機器を光デジタルケーブル (市販品) で本機に接続して、音楽を再生することができます。



光デジタル出力機器を接続する

- 1 本機の電源コードを抜く
- 2 光デジタル出力機器などを本機に接続する
- 3 本機と電源コードを接続する (⇒ 30)
- 4 [冫] を押して電源を入れる
- 5 [OPT] を押す
- 6 接続した機器側を操作して音楽を再生する
 - 本体天面の LED インジケータ (OPT) が点灯します。
 - 機器を接続していないか、再生していないか、または本機が対応していない再生フォーマットの場合、本体天面の LED インジケータ (OPT) が点滅することがあります。

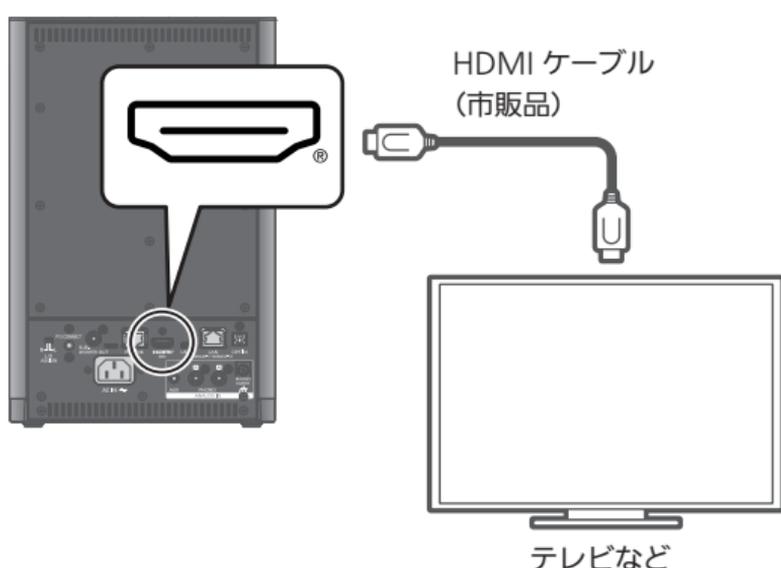
お知らせ

- 接続機器で動画を再生すると、映像に対して音声はずれて聴こえる場合があります。
- 本機の光デジタル音声入力は、以下のリニア PCM 信号のみに対応しています。詳しくは接続機器の取扱説明書をご確認ください。
 - サンプル周波数：
32、44.1、48、88.2、96 kHz
 - 量子化ビット数：
16、24 bit

TV などの HDMI 機器の音楽を再生する (HDMI)

テレビなどの ARC (Audio Return Channel) 機能に対応した HDMI 機器を HDMI ケーブル (市販品) で本機に接続して、テレビの音声を再生できます。また、「HDMI Selector Link」や「Power On Link」などの HDMI CEC (Consumer Electronics Control) 機能も利用できます。

ARC 対応のテレビなどの HDMI 機器を接続する



■準備

- 接続する HDMI 機器 (テレビなど) の設定で、出力音声信号を PCM に選択する

- 1 本機の電源コードを抜く
- 2 HDMI 機器を本機に接続する
 - 周辺機器に接続するときには、Premium High Speed HDMI Cable を使用してください。
- 3 本機と電源コードを接続する (⇒ 30)
- 4 [冫] を押して電源を入れる
- 5 [HDMI] を押す
- 6 接続した機器側を操作して音楽を再生する
 - 本体天面の LED インジケーター (HDMI) が点灯します。
 - 機器を接続していないか、再生していないか、または本機が対応していない再生フォーマットの場合、本体天面の LED インジケーター (HDMI) が点滅することがあります。

- 周辺機器に接続するときは、Premium High Speed HDMI Cable を使用してください。
- ARC (Audio Return Channel) 機能に対応する HDMI 入力端子と本機を接続してください。
- テレビを接続するときは、テレビの音声出力先を本機に設定してください。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- ARC 機能に対応している音声信号はリニア PCM です。
- リニア PCM 以外の音声信号は入力しないでください。ノイズが発生するなどして、スピーカーを破損するおそれがあります。
- 接続するテレビによっては、音量が小さい場合があります。
- テレビに表示される音量の値と本機の音量の値は一致しない場合があります。
- テレビの入力ソースを本機に設定したときに、テレビ画面に何らかの画像が表示される場合がありますが、故障ではありません。

HDMI Control

本機の HDMI CEC (Consumer Electronics Control) 機能を有効にします。

- HDMI CEC とは、HDMI で接続した機器の間で制御信号をやり取りすることで、相互に操作を連動させる機能のことです。

1 「Technics Audio Center」アプリを起動する

2 画面の指示に従って設定する

- お買い上げ時の設定は「On」です。
- 「On」に設定すると、「HDMI Selector Link」、「HDMI Power On Link」、「HDMI Power Off Link」、「HDMI ARC」の設定が可能です。

HDMI Selector Link

HDMI ケーブルで接続した TV から CEC の信号を受けたときに、入力ソースを自動的に「HDMI」に切り換えます。

- お買い上げ時の設定は「On」です。

HDMI Power On Link

接続したテレビが作動すると（電源を入れるなど）、連動して自動的に本機の電源が「入」になります。

- お買い上げ時の設定は「On」です。

HDMI Power Off Link

接続したテレビの電源を切ると、本機の電源が自動的に切れます。

On :

接続したテレビの電源を切ると、本機の電源が自動的に切れます。

On(HDMI ARC/HDMI(OPT)) :

入力ソースとして「HDMI ARC」を選択しているときのみ、接続したテレビの電源を切ると、本機の電源が自動的に切れます。

- お買い上げ時の設定は「On」です。

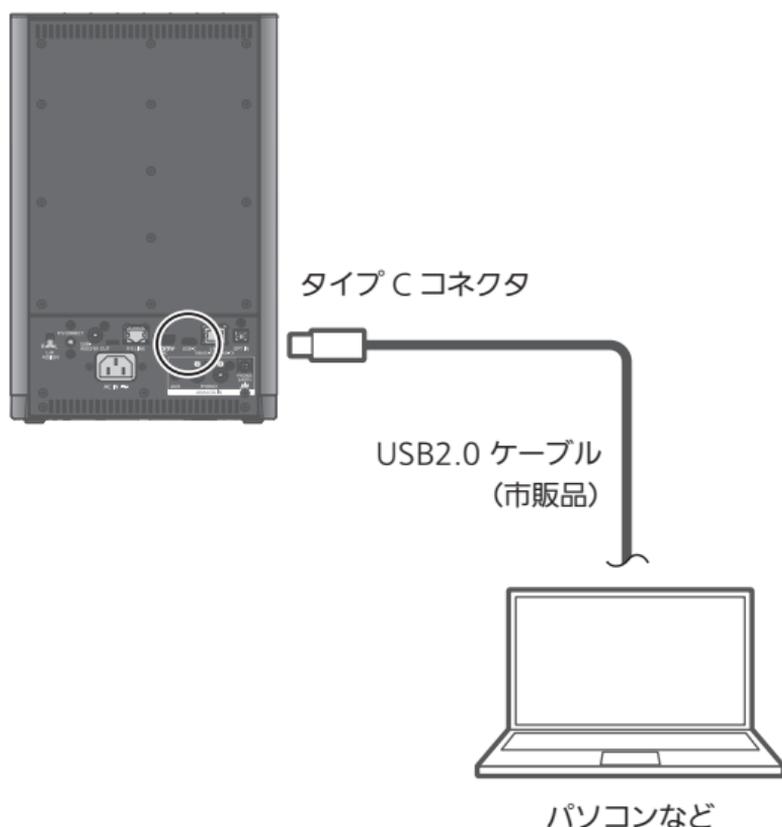
HDMI ARC

「On」に設定すると、「HDMI」端子 (HDMI ARC) に接続した HDMI 機器の音声を出力します。「HDMI ARC」を「Off」に設定すると、「OPT」端子に接続した機器の音声を出力することもできます。

- お買い上げ時の設定は「On」です。

パソコンなどの音楽を再生する (USB)

パソコンなどを USB2.0 ケーブル（市販品）で本機に接続して、パソコンなどにある音楽を再生することができます。



■準備する

パソコンと接続する場合、接続前に下記の操作を行ってください。

パソコンの推奨 OS については下記をご確認ください。

jp.technics.com/support/

① (Windows OS のとき)

ご使用のパソコンに専用 USB ドライバーソフトを下記 URL からダウンロード・インストールする

jp.technics.com/support/

② ご使用のパソコンに専用アプリケーション「Panasonic Audio Player 2」(無料) を下記 URL からダウンロード・インストールする

jp.technics.com/support/

USB2.0 ケーブルで接続する

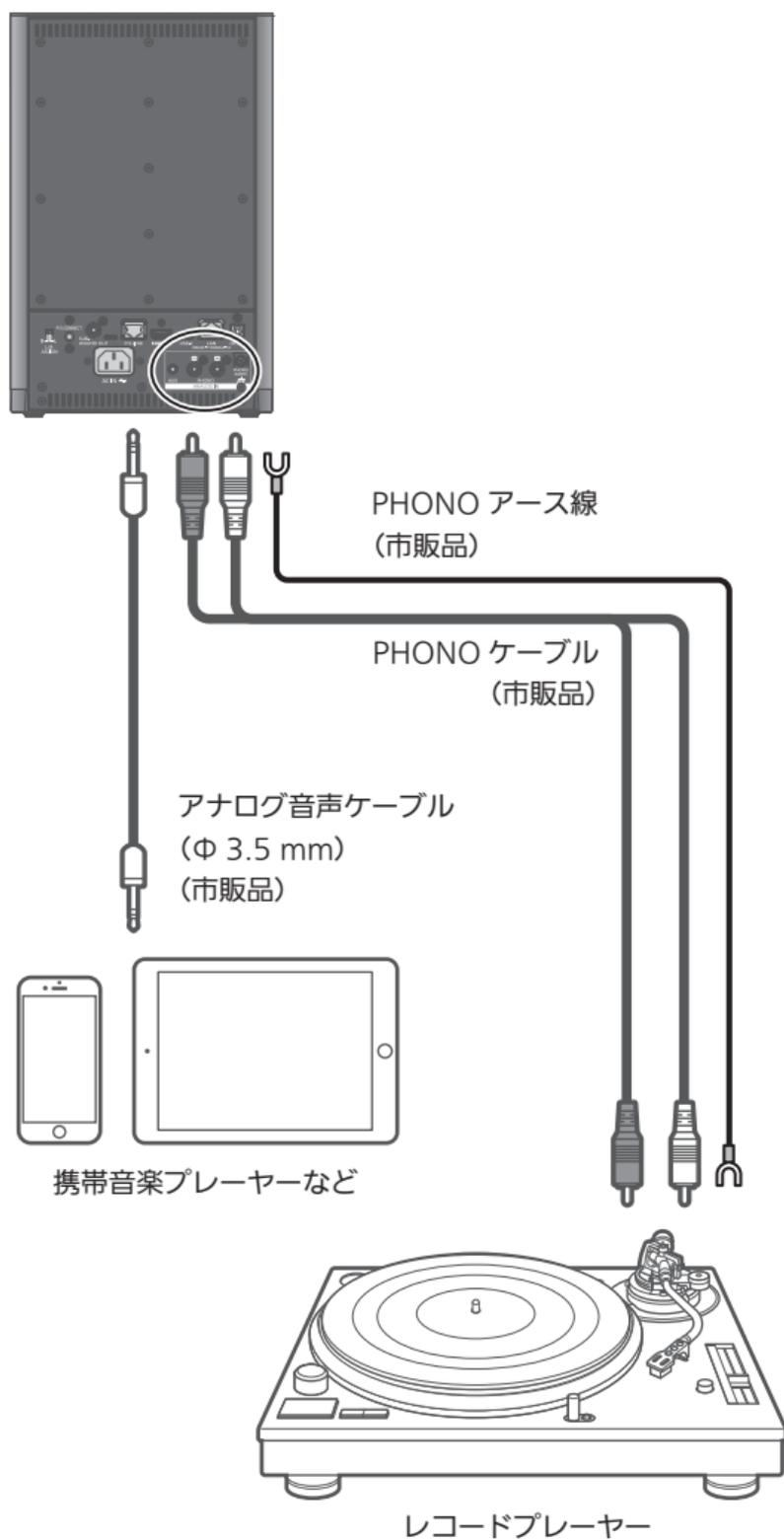
- 1 本機の電源コードを抜く
- 2 パソコンなどを本機に接続する
- 3 本機と電源コードを接続する (⇒ 30)
- 4 [〇] を押して電源を入れる
- 5 [USB] を押す
- 6 接続したパソコンなどでアプリケーションを起動して、音楽を再生する
 - 本体天面の LED インジケータ (USB) が点灯します。
 - 機器を接続していないか、再生していないか、または本機が対応していない再生フォーマットの場合、本体天面の LED インジケータ (USB) が点滅することがあります。

お知らせ

- 本機の USB-C 端子はデータ転送専用です。USB 機器の充電はできません。

アナログ出力機器の音楽を再生する (PHONO/AUX)

レコードプレーヤーを PHONO ケーブル (市販品) で本機に接続したり、BD プレーヤーなどのアナログ出力機器をアナログ音声ケーブル (市販品) で本機に接続して、機器の音楽を再生することができます。



お知らせ

- PHONO アース端子はプラスドライバーを使用して締め付けてください。
- アナログプレーヤー再生時にノイズが出る場合は、Wi-Fi ルーターやスマートフォンなど電波を発する機器を遠ざけると改善する場合があります。

PHONO ケーブル / アナログ音声ケーブルで接続する

- 1 本機の電源コードを抜く
- 2 機器を本機に接続する
- 3 本機と電源コードを接続する (⇒ 30)
 - 入力ソースを切り換える前に、本機の音量を絞ってください。
- 4 [⏻] を押して電源を入れる
- 5 [AUX] / [PHONO] を押す
 - 本体天面の LED インジケーター (AUX / PHONO) が点灯します。
- 6 機器を操作して音楽を再生する

お知らせ

- PHONO イコライザー内蔵のレコードプレーヤーと接続する場合、レコードプレーヤーのイコライザーをオフに設定してアナログ音声入力端子 (PHONO) に接続してください。
- PHONO アース線のあるレコードプレーヤーと接続する場合、PHONO アース線を本機の PHONO EARTH 端子に接続してください。

アナログ音声の入力レベルを調節する 「AUX 入力レベル」

アナログ音声入力端子に接続した機器の音量が大きいとき、「Low」に切り換えると改善することがあります。

リモコンの [AUX] を 4 秒間押したままにする

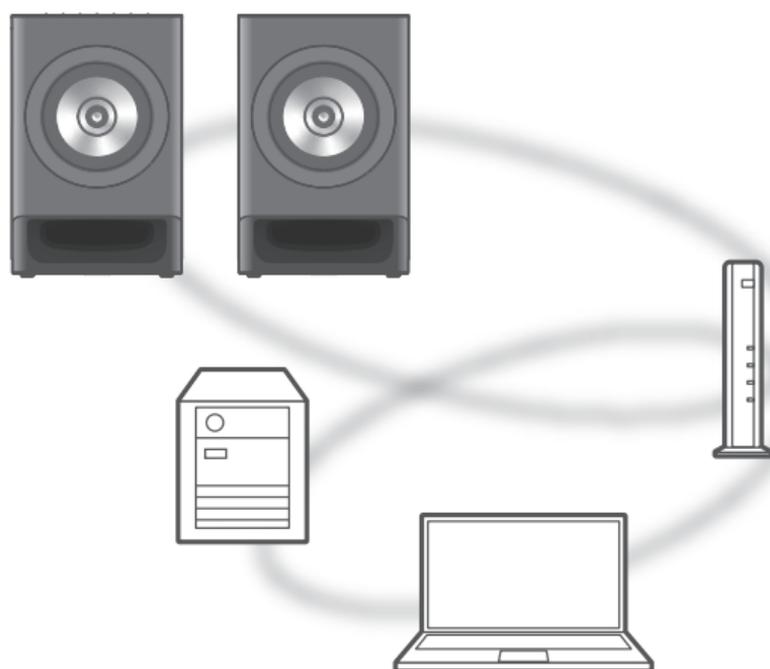
- 入力レベルが「High」または「Low」に切り換わります。
- 本体天面の LED インジケーターが点灯して設定状態を表示します。
「High」：USB/AUX/PHONO
「Low」：NET/  /OPT
- お買い上げ時の設定は「High」です。

音楽を楽しむ

ネットワークサーバーの音楽を再生する

パソコンやNAS（ネットワーク・アタッチト・ストレージ）などサーバー※に保存した音楽を本機で再生することができます。

※ 音楽が記録された機器をサーバーといいます。



■準備する

- ネットワークに接続する。(⇒ 32)
- 接続する機器をご家庭でお使いのネットワークに接続する。
- Windows Media® Player をご使用の場合
 - Windows Media Player 11 または 12 のライブラリやスマートフォンなどにコンテンツやフォルダを追加する。
 - Windows Media Player のプレイリストからは、ライブラリに保存されたコンテンツしか再生できません。
 - Windows Media Player は、ストリーミング再生をするための事前の設定が必要です。

DMC から操作してネットワークサーバーのコンテンツを再生する

DMC（デジタルメディアコントローラー）対応機器を操作して、ネットワークサーバーの音楽を本機（DMR/ デジタルメディアレンダラー）から再生できます。

DMC 対応機器を操作する

- お買い上げ時の機器（レンダラー）名は「Technics-SC-CX700-**** ※^{1,2}」と表示されます。
- 接続機器の設定および操作方法については、機器の取扱説明書をお読みください。

お知らせ

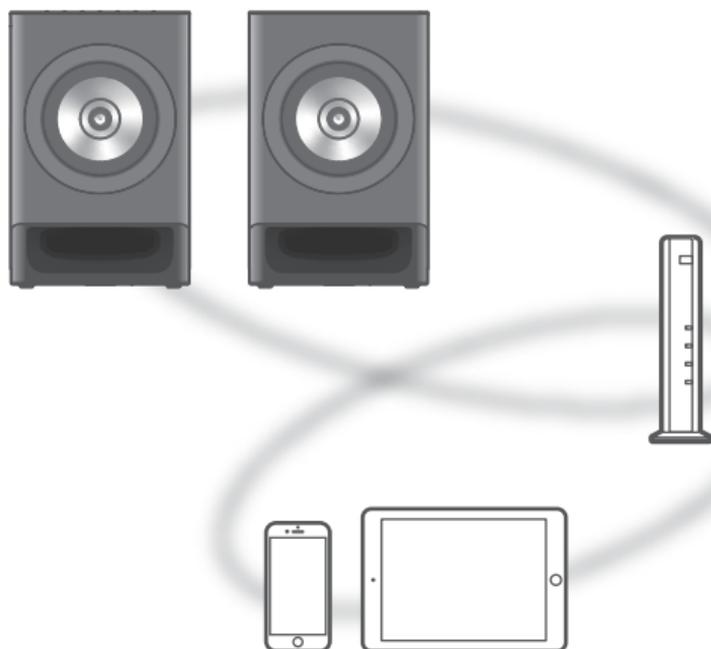
- 他の入力ソースで再生中のときでも、DMC から操作すると、ネットワークサーバーの再生が優先されます。
- コンテンツや接続しているネットワーク機器によっては、一部の操作ができなかったり、再生できない場合があります。
- すべての DMC アプリの動作を保証するわけではありません。専用アプリケーション「Technics Audio Center」のご使用をお勧めします。

※ 1 機器によって固有の番号が表示されます。

※ 2 「Technics Audio Center」アプリから、機器の名前を変更できます。

インターネットラジオ / Podcasts を再生する

本機はインターネットに接続して、インターネットラジオや Podcasts を再生することができます。



■準備する

- 「Technics Audio Center」アプリがインストールされた機器を本機と同じネットワークに接続する。(⇒ 32)
(インターネットに繋がったネットワークに接続してください)

1 [NET] を押す

- 本体天面の LED インジケーター (NET) が点灯します。

2 「Technics Audio Center」アプリを起動し、画面の指示に従って操作する

お知らせ

- インターネットラジオサービスおよび Podcasts は、予告なく変更・停止する場合があります。
- ネットワークの状況によっては、再生が正常にできないことがあります。
- 本体天面の LED インジケーター (NET) が点滅している場合は、ネットワーク接続設定を確認してください。(⇒ 32)

再生中の操作

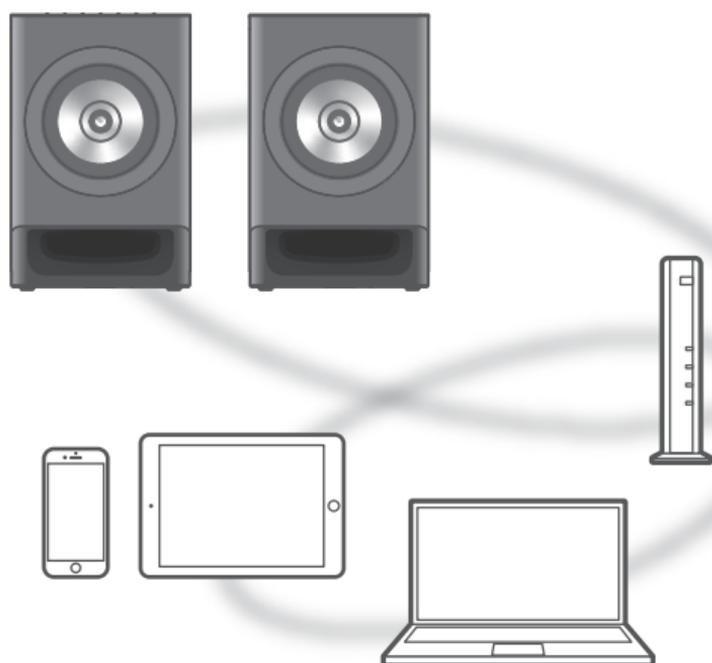
一時停止 (Podcasts 再生時 のみ)	[▶/] ・再開するには [▶/] を押す
局を飛ばす (スキップ)	[⏪] [⏩]
早送り・早戻し (サーチ) (Podcasts 再生時 のみ)	[⏪] [⏩] を押したままに する

Spotify Connect を使って 音楽を再生する



スマートフォン、タブレット、パソコンをリモコンにして、Spotify で音楽を楽しめます。詳しくは spotify.com/connect をご覧ください。

Roon Ready を使って音楽を再生する



roon READY

本機は Roon Ready デバイスとして音楽を再生することができます。

Roon を利用するには Roon への登録が必要です。Roon に関しては下記のサイトをご確認ください。

<https://roon.app>

■準備する

- ネットワーク設定をする。(⇒ 32)
(インターネットにつながったネットワークに接続してください)
- 接続する機器をご家庭でお使いのネットワークに接続する。
 - ① Roon の再生デバイスとして本機を選択する
 - ② Roon で音楽を再生する

再生中の操作

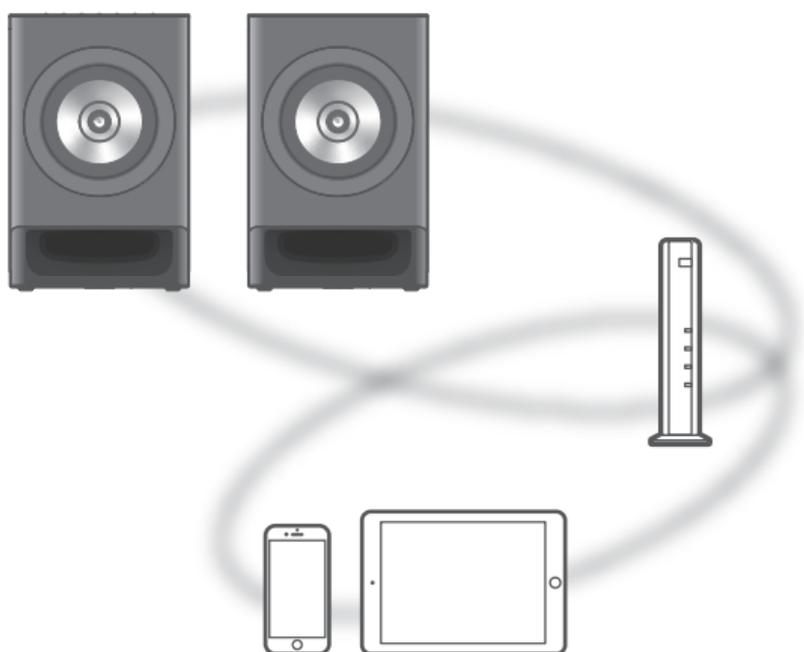
一時停止	[▶/] •再開するには [▶/] を押す
曲を飛ばす (スキップ)	[⏮] [⏭]
早送り・早戻し (サーチ)	[⏮] [⏭] を押したままにする

Deezer の音楽を再生する

専用アプリケーション「Technics Audio Center」(無料)をインストールしたお使いのスマートフォンやタブレットから接続して、本機で Deezer の音楽配信サービスを再生することができます。

Deezer について、詳しくは下記のサイトをご確認ください。

www.deezer.com



DEEZER

■準備する

- 「Technics Audio Center」アプリがインストールされた機器を本機と同じネットワークに接続する。(⇒ 32)
(インターネットに繋がったネットワークに接続してください)
- はじめて Deezer を再生する場合は、Deezer へのログインが必要です。以下の手順でログインしてください。
 - ① お使いのスマートフォンやタブレットから「Technics Audio Center」アプリを起動する
 - ② 「Technics Audio Center」アプリから Deezer を選ぶ
 - ③ Deezer にログインする (アカウントがない場合は登録が必要です)

1 [NET] を押す

- 本体天面の LED インジケーター (NET) が点灯します。

2 「Technics Audio Center」アプリを起動し、画面の指示に従って操作する

お知らせ

- 本体天面の LED インジケータ（NET）が点滅している場合は、ネットワーク接続設定を確認してください。（⇒ 32）

再生中の操作

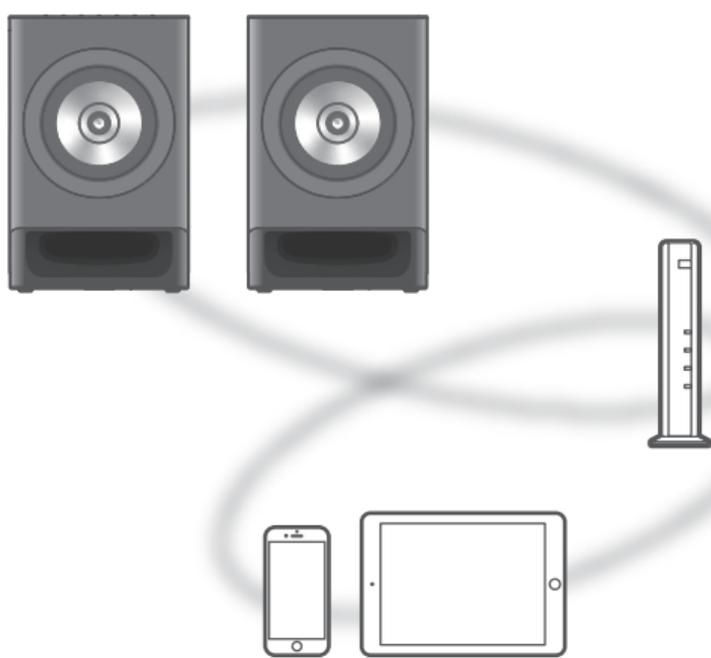
一時停止	[▶/] • 再開するには [▶/] を押す
曲を飛ばす (スキップ)	[◀◀] [▶▶]
早送り・早戻し (サーチ)	[◀◀] [▶▶] を押したままにする

Amazon Music の音楽を再生する

専用アプリケーション「Technics Audio Center」(無料)をインストールしたお使いのスマートフォンやタブレットから接続して、本機で Amazon Music の音楽配信サービスを再生することができます。

Amazon Music について、詳しくは下記のサイトをご確認ください。

www.amazonmusic.com



amazon music

■準備する

- 「Technics Audio Center」アプリがインストールされた機器を本機と同じネットワークに接続する。(⇒ 32)
(インターネットに繋がったネットワークに接続してください)
- はじめて Amazon Music を再生する場合は、Amazon Music へのログインが必要です。以下の手順でログインしてください。
 - ① お使いのスマートフォンやタブレットから「Technics Audio Center」アプリを起動する
 - ② 「Technics Audio Center」アプリから Amazon Music を選ぶ
 - ③ Amazon Music にログインする (アカウントがない場合は登録が必要です)

1 [NET] を押す

- 本体天面の LED インジケーター (NET) が点灯します。

2 「Technics Audio Center」アプリを起動し、画面の指示に従って操作する

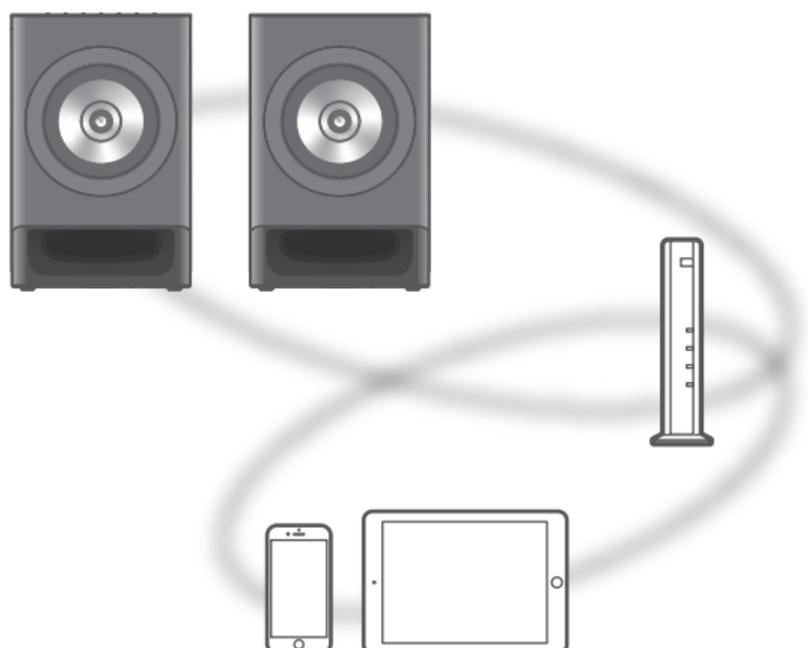
お知らせ

- 音楽配信サービスの仕様によって、一部の操作ができない場合があります。
- 本体天面のLEDインジケータ（NET）が点滅している場合は、ネットワーク接続設定を確認してください。（⇒ 32）

再生中の操作

一時停止	[▶/] • 再開するには [▶/] を押す
曲を飛ばす (スキップ)	[⏮] [⏭]
早送り・早戻し (サーチ)	[⏮] [⏭] を押したままにする

Google Cast 対応 アプリを使って音楽を再生する



本機では Google Cast に対応したアプリをお使いいただけます。Google Cast に対応したアプリの情報については下記のサイトをご覧ください。

g.co/cast/apps

■準備する

- ネットワーク設定をする。(⇒ 32)
(インターネットにつながったネットワークに接続してください)
- お使いの機器 (スマートフォンやタブレットなど) に Google Cast に対応したアプリをインストールする。
- 接続する機器をご家庭でお使いのネットワークに接続する。

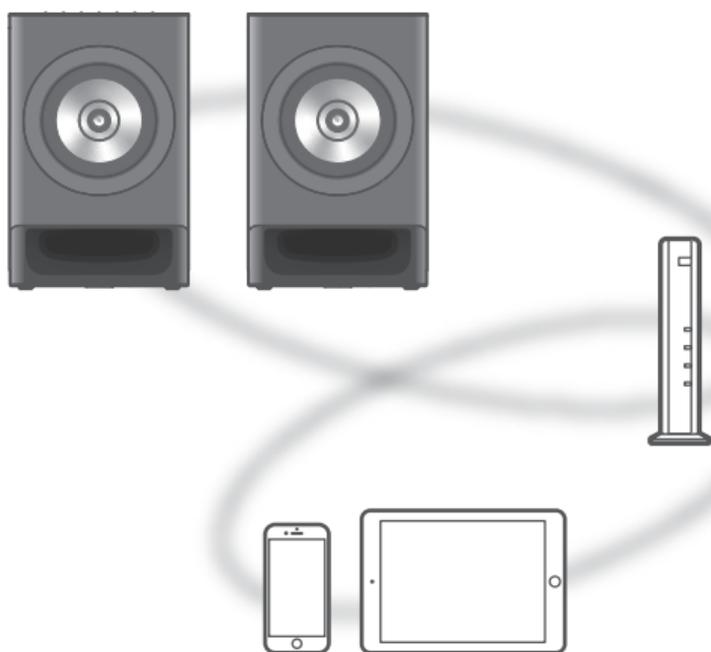
1 お使いの機器 (スマートフォンやタブレットなど) から Google Cast 対応アプリを起動して本機を選択する

- 入力ソースが「NET」に切り換わります。

2 音楽を再生する

AirPlay を使って音楽を再生する

iOS 機器などに保存した音楽を、AirPlay の機能を使って再生することができます。



■準備する

- ネットワーク設定をする。(⇒ 32)
- iOS 機器やパソコンを、ご家庭でお使いのネットワークに接続する。

1 (Mac、iOS 機器のとき)

「ミュージック」アプリまたは「iPod」を起動する

(パソコンのとき)

「iTunes」を開く

2 AirPlay アイコン (例:) を選び、スピーカーを選ぶ

- お買い上げ時のスピーカー名は「Technics-SC-CX700-**** ※」と表示されます。
- お使いのアプリから本機の名前を設定した場合は、設定した名前が表示されます。

3 音楽を再生する

- 音を出す前に iOS 機器や iTunes の音量が適切か確かめてください。
- 初めてご使用になるときは iOS 機器や iTunes の音量を絞ってください。
- 再生開始後、実際に音声が出るまで少し時間がかかります。

※ 機器によって固有の番号が表示されます。

再生中の操作

一時停止	[▶/] • 再開するには [▶/] を押す
曲を飛ばす (スキップ)	[◀◀] [▶▶]

- iOS 機器や iTunes でも操作することができます。

お知らせ

- iOS 機器や iTunes の音量を変えると、本機の音量も変わります。(iTunes をお使いのときは設定が必要です。)
- 他の入力ソースで再生中のときでも、AirPlay の再生が優先されます。
- iOS や iTunes のバージョンによっては、AirPlay 再生中に入力ソースを切り換えたり、本機の電源を切 / 入したりすると、次回に AirPlay の再生ができないことがあります。そのときは手順 2 でいったん別のスピーカーを選んでから、本機を選び直してください。
- iTunes で動画を再生しているときは、本機から AirPlay の再生ができないことがあります。
- 「Technics Audio Center」では、入力ソース名は「Network」と表示されます。

使いこなす

音質・音場効果を楽しむ	67
Space Tune で調整する	67
低音域・高音域を調整する 「Tone control」.....	68
スピーカーのバランスを調整する 「Balance L/R」.....	68
自然な音で再生する 「Bluetooth RE-MASTER」.....	68
HDMI 入力を無効にする	69
サブウーハー出力を無効にする	69
便利な機能	70
音量を制限する 「VOL Limitation」	70
電源の切り忘れを防ぐ 「Auto Off」	70
電子音を設定する 「Beep」	71
おやすみタイマー 「SLEEP」	71
ファームウェアのバージョンを確認する 「ファームウェア」.....	72
ファームウェアを更新する 「ファームウェアの更新」	72
サブウーハーを接続する	74
アナログ音声ケーブルで接続する	74

📖 もくじ ... 05

Space Tune で調整する

本機を設置した場所（壁際や部屋の隅など）に合わせて、適した音質に調整することができます。

- お買い上げ時の設定は「Free」です。
- 「Technics Audio Center」アプリを使って設定ができます。

Free:

本機の近くに壁などが無いときに設定します。

Wall:

本機の近くに壁などがあるときに設定します。

Corner:

本機を部屋の隅に設置したときに設定します。

In a Shelf:

スピーカーを棚などに設置したときに設定します。

L/R Custom:

左右のスピーカーのそれぞれに設定します。

Auto:

テスト音と本機の内蔵マイクを使い、設置した場所に合わせて自動で音質を調整します。

- プライマリースピーカーとセカンダリースピーカーを接続してから調整してください。
- 調整中は比較的大きなテスト音が出力されます。
- 調整の進行状況は本体天面のLEDインジケータの点滅で表示します。調整が完了すると、本体天面のLEDインジケータすべてが2秒間点灯します。
- 調整に失敗すると「ピピピ」と音が鳴り、本体前面の電源インジケータおよび天面のLEDインジケータすべてが3回点滅します。
- また、「Auto」はリモコンでも設定が可能です。
[S.TUNE AUTO]を2秒間押したままにすると音質の調整が始まります。音量を最小にした状態で本体の音量ボタンの[-]を押したままにし、[S.TUNE AUTO]を押すと「Auto」の設定を解除し、「Free」の設定になります。

Measured:

テスト音と「Technics Audio Center」アプリをインストールしたiOS機器のマイクを使い、リスニングポジションに応じた最適な音質に近づけることができます。

- プライマリースピーカーとセカンダリースピーカーを接続してから調整してください。
- 調整中は比較的大きなテスト音が出力されます。

低音域・高音域を調整する

「Tone control」

出力する音声の強弱を「Bass」（低域）、「Treble」（高域）ごとに調整することができます。

- 1 「Technics Audio Center」アプリを起動する
- 2 画面の指示に従って設定する

- 各レベルはそれぞれ「- 10」から「+ 10」まで調整できます。
- お買い上げ時の設定は「Off」です。

スピーカーのバランスを調整する

「Balance L/R」

スピーカーの左右の音量バランスを調整します。

- 1 「Technics Audio Center」アプリを起動する
- 2 画面の指示に従って設定する

- 左右どちらかの最大値に設定すると、片方のスピーカーからは音声が出力されません。

自然な音で再生する

「Bluetooth RE-MASTER」

再生帯域を拡張することにより、オリジナル音源に近い自然で広がりのある音を再現します。

- 1 「Technics Audio Center」アプリを起動する
- 2 画面の指示に従って設定する

- お買い上げ時の設定は「Off」です。

HDMI 入力を無効にする

HDMI 入力を無効にすることで、より高音質な再生を行います。

1 音量を最小の状態にする

2 本体の音量ボタンの [-] を押したままにし、リモコンの [HDMI] を押す

- 本体天面の LED インジケーター (NET/  /OPT) が 2 秒間点灯します。
- 手順 2 のときに、再度 [HDMI] を押すと、HDMI 入力が有効になり、本体天面の LED インジケーター (USB/AUX/PHONO) が 2 秒間点灯します。
- HDMI 入力が無効のときは、入力ソースとして「HDMI」を選択できません。「ピピピ」と音が鳴り、本体天面の LED インジケーター (HDMI) が 3 回点滅してお知らせします。
- お買い上げ時の設定は「On」です。
- 「Technics Audio Center」アプリを使っても設定ができます。

サブウーハー出力を無効にする

サブウーハー出力を無効にすることにより、より高音質な再生ができます。

1 「Technics Audio Center」アプリを起動する

2 画面の指示に従って設定する

- お買い上げ時の設定は「On」です。

音量を制限する 「VOL Limitation」

本機の電源を入れたときや再生開始時の音量が大音量にならないように、自動的に出力を下げる機能です。

リモコンの [MUTE] を 4 秒間押したままにする

- 「On」または「Off」に切り換わります。
- 本体天面の LED インジケーターが点灯して設定状態を表示します。
「On」：USB/AUX/PHONO
「Off」：NET/  /OPT
- お買い上げ時の設定は「Off」です。
- 「Technics Audio Center」アプリを使っても設定ができます。

電源の切り忘れを防ぐ 「Auto Off」

設定を「On」にしていると、無音の状態が約 20 分続き、その間ボタン操作などがなかった場合、電力を節約するため、自動的に電源「切」状態に切り換わります。

- 入力ソースが「USB」で、DSD 音源を再生中はこの機能は働きません。

1 音量を最小の状態にする

2 本体の音量ボタンの [-] を押したままにし、 リモコンの [] を押す

- 「On」または「Off」に切り換わります。
- 本体天面の LED インジケーターが点灯して設定状態を表示します。
「On」：USB/AUX/PHONO
「Off」：NET/  /OPT
- お買い上げ時の設定は「On」です。
- 「Technics Audio Center」アプリを使っても設定ができます。

お知らせ

- 電源を切 / 入しても、設定は保持されます。
- 電源「切」になる 3 分前から電源インジケーターがゆっくりと点滅してお知らせします。

電子音を設定する

「Beep」

タッチスイッチを操作するときの電子音を、有効・無効に切り換えることができます。

- 1 「Technics Audio Center」アプリを起動する
- 2 画面の指示に従って設定する

- お買い上げ時の設定は「On」です。
無効にするには、「Off」を選んでください。

お知らせ

- 本機に異常が発生した場合には、設定によらず電子音とLEDインジケータでお知らせします。(⇒ 82)

おやすみタイマー

「SLEEP」

指定した時間が経過すると、自動的に再生を停止し、電源が切れます。

- 1 「Technics Audio Center」アプリを起動する
- 2 画面の指示に従って設定する

- 以下の場合に、おやすみタイマーは取り消されます。
 - 本機の設定をお買い上げ時の状態（工場出荷設定）に戻す
 - 無線 LAN 接続を設定する
 - ファームウェアを更新する
 - 電源「切」時
- 設定すると電源インジケータが 10 秒周期でゆっくりと点滅し、電源「切」になる 10 秒前から 2 秒周期でゆっくりと点滅してお知らせします。

ファームウェアのバージョンを 確認する 「ファームウェア」

本体天面の LED インジケーターが点灯し、本機のファームウェアのバージョンを表示します。

- 1 リモコンの [▶/III] を 4 秒間押したままにする
 - 本体天面のすべての LED インジケーターが消灯します。
- 2 本体天面の LED インジケーターが「AUX」から「PHONO」の順に点滅し、ファームウェアのバージョンを表す 2 桁の数字が表示される
 - たとえば、ファームウェアのバージョンが「1.25.00.00」の場合、「AUX」が 2 回点滅し、続いて「PHONO」が 5 回点滅します。

お知らせ

- 電源コードを接続して 1 分以上たってから確認してください。1 分以内にこれらの操作を行うと「ピピピ」と音が鳴り、ファームウェアのバージョンを確認することができない場合があります。

ファームウェアを更新する 「ファームウェアの更新」

動作の改善や、新機能の追加のため、当社は本機のファームウェアを必要に応じて更新しています。これらのアップデートは無料でご利用できます。

- ファームウェアの更新内容（機能の変更および改善）については下記のサイトをご確認ください。

jp.technics.com/support/firmware/



ファームウェアの更新は約 15 ～ 45 分程度かかります。

ファームウェアの更新中は絶対に電源コードを抜かないでください。

本体天面の LED インジケーターの点滅で進行状況をお知らせします。

お知らせ

- ファームウェアの更新中は他の操作はできません。
- ファームウェアを更新すると、本機の設定が初期化される場合があります。

■準備する

- ネットワークに接続する。(⇒ 32)
(インターネットに繋がったネットワークに接続してください)

「Technics Audio Center」アプリを起動し、画面の指示に従ってファームウェアのアップデートを開始する

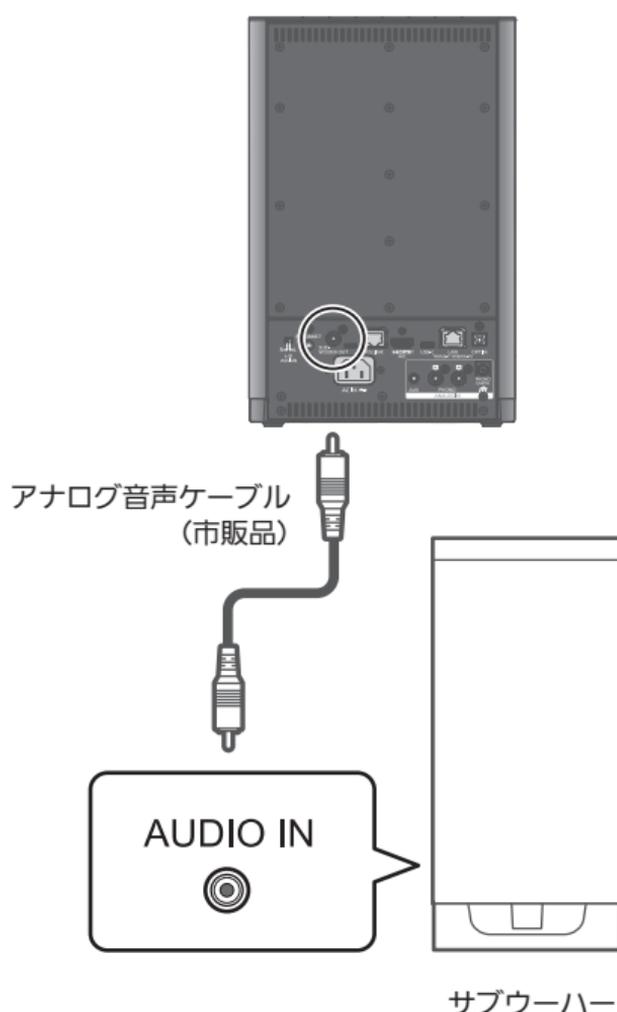
- 更新中は、本体前面の電源インジケータが点滅し、天面のLEDインジケータが進捗状況を表示します。更新が完了すると、すべてのLEDインジケータが2秒間点灯し、その後、本機が再起動します。
- 更新が失敗すると、「ピピピ」と音が鳴り、本体天面のLEDインジケータが3秒周期で3回点滅します。

お知らせ

- インターネットのご利用環境や接続回線の混雑状況などにより、更新に時間がかかる場合があります。
- ネットワーク接続設定が完了したあとや、ネットワーク接続が確立していて本機を使用していないときに、自動的にファームウェアが更新される場合があります。

サブウーハーを接続する

サブウーハーをアナログ音声ケーブル（市販品）で本機に接続して、音声を出力することができます。



アナログ音声ケーブルで接続する

- 1 本機の電源コードを抜く
- 2 サブウーハーを本機に接続する
- 3 本機と電源コードを接続する (⇒ 30)
- 4 [⏻] を押して電源を入れる

お知らせ

- 接続機器の詳しい操作方法は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

必要なとき

故障かな!?	76
本機の温度上昇について	76
ファームウェアを更新していますか?	76
本機の設定をお買い上げ時の状態 (工場出荷設定)に戻すには	76
共通	77
HDMI	78
Bluetooth®	79
ネットワーク	80
インターネットラジオ / ストリーミング音楽配信サービス	81
リモコン	82
インジケータの点灯 / 点滅	82
スピーカー同士の無線ペア登録を行う	85
無線機能使用上のお願い	86
著作権について	89
仕様	92
保証とアフターサービス	96
まず、お買い求め先へご相談ください	96
転居や贈答品などでお困りの場合は、 次の窓口にご相談ください	97

📖 もくじ ... 05

故障かな!?

故障かな?と思ったら以下の項目を確かめてください。それでも直らないときや、ここに記載のない症状のときはお買い上げの販売店にご相談ください。

本機の温度上昇について

本機使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。

背面などを触るときは、温度が高くなっている場合がありますのでお気をつけください。本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから3分以上待ってください。

ファームウェアを更新していますか?

本機の動作を改善するために、ファームウェアは必要に応じて更新されています。(⇒ 72)

新しいファームウェアがある場合は、電源を入れた後1分間、10秒周期で電源インジケータがゆっくりと点滅してお知らせします。

本機の設定をお買い上げ時の状態 (工場出荷設定)に戻すには

本機の動作がおかしいと思われる場合、一度お買い上げ時の状態に戻してみると、症状が改善されることがあります。

- 1 プライマリースピーカーの電源プラグを抜く
 - 30秒以上たってから手順2を行ってください。
- 2 プライマリースピーカーの本体の
[ON/OFF] を押しながら電源プラグを接続する
 - 本体天面の左端の2つのLEDインジケータ(NET/) が点灯し、「ピッ」と音が鳴るまで本体の [ON/OFF] を押したままにしてください。
- 3 本体の [ON/OFF] を離す
 - 初期化の進行状況は本体天面のLEDインジケータの点滅で表示します。初期化が完了すると、「ピー」と音が鳴り、本体天面のLEDインジケータすべてが2秒間点灯し、電源が切れます。
 - プライマリースピーカーとセカンダリースピーカー間のペア登録情報を除く、すべての設定がお買い上げ時の設定に戻ります。

共通

本機が操作を受け付けなくなった、正常に動作しなくなった

- 各種安全装置などが働いていることがあります。
 - ① 本体の [㊦/㊧] を押し、電源を切る
 - 切れない場合は、約 5 秒以上押したままにすると強制的に切れます。
(それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約 3 分後再びコンセントに差し込む)
 - ② 本体の [㊦/㊧] を押し、電源を入れる
(起動に時間がかかる場合があります)
 - 電源を入れても正常に動作がしない場合、本体の [㊦/㊧] を約 5 秒以上押したままにして本体の電源を切ってください。(電源が切れたらボタンから指を離す)
 - 上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- リモコンが正しく働いていないこともあります。
(⇒ 82)

再生中に「ブーン」という音がする

- 接続コードの近くに他の電気機器の電源コードや蛍光灯がありませんか。他機器の電源を切るか、本機からできるだけ離してください。
- 電源プラグを逆に差し換えてみてください。
- テレビの近くなど磁気の強い場所では、音声の品質が影響を受ける場合があります。本機をそのような場所から離してみてください。
- 通話中の携帯電話など、強度の高い電波を発する機器が近くにある場合、ノイズを出力する場合があります。

音声が正常に出力されない

- 入力端子と出力端子を間違えて接続していませんか。
- 電源を切ってから接続し直してください。
- 入力ソースを正しく選択してください。
- 接続ケーブルのプラグは奥まで差し込んでください。
- 「SUBWOOFER OUT」を「Off」に設定している場合は、SUBWOOFER 端子から音声は出力しません。(⇒ 69)
- マルチチャンネルのコンテンツの再生には対応していません。
- 本機の光デジタル音声入力端子は、リニア PCM 信号のみに対応しています。詳しくは接続機器の取扱説明書をご確認ください。

セカンダリースピーカーから音声で正常に出力されない

- セカンダリースピーカーの電源コードが正しく接続されているかを確認してください。
- スピーカー同士の無線接続が途切れている可能性があります。電源を切 / 入して、再接続してください。また、プライマリースピーカーの P/S CONNECT ボタンを 2 秒間押し続けて手動で接続することもできます。それでも接続できない場合は、両スピーカーの電源プラグを抜き、30 秒以上たってから再度電源プラグを接続して、本機の電源を入れてください。
これらの方法で解決しない場合は、プライマリースピーカーとセカンダリースピーカーのペア登録が外れている可能性があります。(⇒ 85)

再生が始まらない

- お使いの環境や接続機器の仕様によっては、少し時間がかかる場合があります。
- マルチチャンネルのコンテンツの再生には対応していません。
- 再生可能なフォーマットか確認してください。(⇒ 94)

電源が突然切れる

- 「Auto Off」機能が働いていませんか。(⇒ 70)
- HDMI CEC (Consumer Electronics Control) 機能を利用していると、接続した HDMI 機器に連動して本機の電源が切れることがあります。(⇒ 46)
- おやすみタイマーが働いていませんか。(⇒ 71)

電源が突然入る

- HDMI の CEC 機能を利用していると、接続した機器に連動して本機の電源が入ることがあります。
- Bluetooth® やネットワーク再生の機能により電源が入ることがあります。
- ネットワーク接続が確立していると、自動的にファームウェアが更新される場合があります。ファームウェア更新中は一時的に電源が入りますが、更新が完了すると自動的に電源が切れます。

電源 / LED インジケータが消えている

- 電源「切」時は、消灯します。
- [DIMMER] を 4 秒間押したままにすると、すべての LED インジケータと電源インジケータが消灯します。(⇒ 23)

本機の設定が初期化される

- ファームウェアを更新すると、本機の設定が初期化される場合があります。

HDMI

HDMI CEC 機能が正しく動作しない

- 接続した機器の HDMI CEC 設定を確かめてください。(接続した機器の HDMI CEC 設定が有効か、音声の出力先を本機に設定しているかなど)
- 本機の「HDMI Control」設定が「Off」になっていませんか。(⇒ 46)
- 詳しくは接続した HDMI 機器 (テレビなど) の取扱説明書もご覧ください。
- HDMI 機器の接続変更、停電、コンセントの抜き差しが原因の可能性があります。以下を試してみてください。
 - ① HDMI ケーブルで接続したすべての機器の電源を入れた状態で、テレビの電源を入れ直す
 - ② テレビの HDMI CEC の設定を一度「切」にしたあと、再度入れ直す

音声が出力されない

- 接続した HDMI 機器 (テレビなど) の設定を確認してください。
 - ① 音声出力信号を PCM に設定できていますか
 - ② 音声の出力先を本機に設定していますか

音声小さい

- 接続するテレビによっては、音声小さい場合があります。音量を調節してください。また、他の入力ソースを選び直すときは、入力ソースに応じて適切な音量に調節してください。

入力ソースとして「HDMI」が選択できない

- HDMI 入力が無効になっていませんか。(⇒ 69)

Bluetooth[®]

Bluetooth[®] 機器が登録できない

- Bluetooth[®] 機器の状態を確かめてください。

Bluetooth[®] 機器と無線接続されない

- Bluetooth[®] 機器が登録されていないか、Bluetooth[®] 機器から本機の登録情報が消去された可能性があります。登録をやり直してください。(⇒ 40)
- 本機が他の Bluetooth[®] 機器と接続されていませんか。他の Bluetooth[®] 機器の電源を切ってください。

Bluetooth[®] 機器と接続されているが、本機から音が出ない

- お使いの Bluetooth[®] 機器によっては音声出力を本機に設定しないと音が出ません。Bluetooth[®] 機器の取扱説明書などをお読みください。
- ワンセグ対応の携帯電話等によっては、その機器の仕様や設定により、音声再生されなかったり、ノイズが発生することがあります。その場合、本機の通信モードを「Mode1」に設定することで改善されることがあります。(⇒ 42)

音が途切れる、音が飛ぶ、雑音が多い

- Bluetooth[®] 通信使用可能距離（約 10 m）を超えていませんか。本機と Bluetooth[®] 機器を近づけてください。
- 本機と Bluetooth[®] 機器間に障害物がありませんか。障害物を避けてください。
- 電子レンジや 2.4 GHz 帯の電波を使用するコードレス電話などを同時にご使用の場合、通信が途切れることがあります。本機と Bluetooth[®] 機器を、それらの機器から離してお使いください。
- 本機の通信モードを「Mode1」に設定することで改善されることがあります。(⇒ 42)

ネットワーク

ネットワークに接続できない

- ネットワーク接続や設定は正しいですか。(⇒ 32)
- 無線 LAN 機能が無効になっている場合は、設定を有効にするか、有線 LAN 接続してください。
- 本機は WPA2™ の Wi-Fi セキュリティ方式に対応しています。
本機をネットワーク接続する際は、WPA2™ に対応している無線ブロードバンドルーターをお使いください。ルーターが対応するセキュリティ方式や、設定の変更についてはルーターの取扱説明書をご覧ください。インターネットサービス業者にお問い合わせください。
- 無線 LAN の電波環境や干渉が原因で接続できないことがあります。その場合は、他の接続方法をお試しください。解決しない場合は、有線 LAN で接続してください。(⇒ 33)
- LAN ケーブルの抜き差しは電源コードを取り外した状態で行ってください。

本機を接続機器のスピーカーとして設定できない

- 接続機器が本機と同じネットワークに接続されているか確認してください。
- 接続機器のネットワーク接続を切 / 入してから、本機と接続し直してください。
- 無線ブロードバンドルーターの電源を切 / 入してください。
- 本機の電源を切 / 入してから、再度本機を接続機器のスピーカーとして選択してください。

再生が始まらない、音が途切れる

- ネットワークの状況によっては、再生が正常にできないことがあります。
- 電子レンジや 2.4 GHz 帯の電波を使用するコードレス電話などを同時にご使用の場合、通信が途切れることがあります。本機と機器を離してお使いください。
- 金属キャビネットの中など電波を遮るようなところに本機を置かないでください。
- 再生が中断された場合は、接続機器の再生状態を確認してください。
- 本機とルーターを近づけてご使用ください。
- 複数の無線機器がルーターに接続されているときは、使用していない機器の電源を切るか、同時に複数の機器を使用するのを控えてください。
- 接続機器のネットワーク接続を切 / 入してから、本機と接続し直してください。
- 無線ブロードバンドルーターの電源を切 / 入してください。
- iOS や iTunes のバージョンによっては、AirPlay 再生中に入力ソースを切り換えたり、本機の電源を切 / 入したりすると、次回に AirPlay の再生ができないことがあります。そのときは iOS 機器や iTunes でいったん別のスピーカーを選んでから、本機を選び直してください。(⇒ 64)
- これらの方法で解決しない場合は、有線 LAN (LAN 端子) で接続できる機器は、LAN ケーブルで接続し直してください。(本機や NAS、サーバーなど) (⇒ 33)

「Technics Audio Center」上でネットワークサーバーが表示されない、保存されたコンテンツが表示されない

- 状態によっては、正しく表示されないことがあります（例えば、コンテンツ追加直後など）。しばらく待ってから、やり直してください。また、ネットワークサーバーの取扱説明書もご覧ください。

パソコンに保存してある音楽ファイルが「Technics Audio Center」上で見つからない

- ネットワーク経由で音楽ファイルを再生する場合、ネットワークサーバーに登録されていない音楽ファイルは表示されません。ネットワークサーバーの取扱説明書を確認してください。

「Technics Audio Center」上の表示文字が正しくない

- 音楽ファイルの曲名などは正しく表示されない場合があります。

PC やアプリなどに保存したファイルが再生されない

- 使用する PC やアプリなどによって、対応するサンプリング周波数でも再生されない場合があります。正しく再生できない場合は、PC やアプリなどの設定をご確認ください。

インターネットラジオ / ストリーミング音楽配信サービス

再生が始まらない、音が途切れる

- 放送を受信できない局は再生されません（放送局をスキップします）。
- インターネットラジオは、放送方式によって、再生できないことがあります。
- ネットワークの状況によっては、再生が正常にできないことがあります。
- インターネットのご利用環境や接続回線の混雑状況などにより、音声途切れたり、再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。
- 国や地域の制約等により、再生できないことがあります。
- ネットワークサービスは、予告なく変更・停止する場合があります。
- 「Technics Audio Center」ではなく、それぞれのストリーミング音楽配信サービスのアプリケーションから操作すると改善される場合があります。

「Technics Audio Center」上の表示文字が正しくない

- 放送局名や国 / 地域 / ジャンルおよび曲名やアルバム名などの情報は、サービス提供会社から配信されています。配信される情報によっては正しく表示されない場合があります。

リピートプレイ、ランダムプレイができない

- コンテンツによってリピートプレイ、ランダムプレイができない場合があります。

リモコン

リモコン操作ができない

- 電池が消耗している場合は電池を交換してください。
(⇒ 25)
- 本体の受信部とリモコンの間に障害物がありませんか。
(⇒ 19)
- 本機とリモコンのリモコンモードが異なっている場合は、天面のLEDインジケータの点滅でお知らせします
(⇒ 83)
リモコンのリモコンモードを本機と合わせてください。
(⇒ 25)

本機のリモコン操作で他の機器が動作してしまう、 他の機器のリモコンで本機が動作してしまう

- 他の機器が干渉しないように、本機とリモコンのリモコンモードを変更してください。(⇒ 25)

インジケータの点灯 / 点滅

本体天面のLEDインジケータおよび前面の電源インジケータが点灯 / 点滅することで本機の動作や状態を示します。

天面のLEDインジケータのすべてと 前面の電源インジケータが素早く3回点滅する



- ネットワークの設定に失敗しました。
- 手順を確認し、ネットワークの設定をやり直してください。(⇒ 32)
- ファームウェアのダウンロードに失敗しました。
- しばらく待ってから、やり直してください。
- お使いの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）がインターネットに接続されているか、確かめてください。
- Space Tune 機能の調整に失敗しました。
- 再度調整してください。(⇒ 32)
- 「Touch Switch」設定が「Off」の状態です。
- タッチキーを操作する場合は、「Technics Audio Center」で「Touch Switch」設定を「On」にしてください。

天面の LED インジケータのすべてが 3 秒間素早く点滅し、その後、いずれかの LED インジケータが 1 秒間点灯する



- 異常が発生しました。(本システムは異常を検出すると、保護回路が働いて、電源を自動的に切る場合があります)
 - 異常に暑い場所で使用していませんか。
 - しばらく待ってから再び電源を入れてください。(保護回路の動作が解除されます)
 - それでも同じ現象が起こる場合は、電源プラグを抜いてお買い上げの販売店にご相談ください。

リモコンで操作すると、天面の LED インジケータのすべてが 1 回または 2 回点滅する



- リモコンモードの設定が本機と合っていません。本機のリモコンモードを点滅回数でお知らせします。
 - 1 回点滅 : 「Mode 1」
 - 2 回点滅 : 「Mode 2」
 - リモコンのリモコンモードを本機と合わせてください。(⇒ 25)

天面の LED インジケータ (NET) と前面の電源インジケータが点滅する



- 無線 LAN 接続の設定 (Wi-Fi 設定) がはじまります。
 - 「Technics Audio Center」アプリを起動して、設定してください。(⇒ 35)
 - 無線ネットワークの接続や設定操作を中止するには本体天面のタッチスイッチを押して入力ソースを切り換えてください。
- ネットワーク機能を使用しない場合は、リモコンの [NET] を押したままにすると、本体天面の LED インジケータ (NET/Bluetooth/OPT) が 2 秒間点灯して「ピー」と音が鳴り、Wi-Fi 設定が無効になります。

天面のLEDインジケータ（OPT、HDMI、USB）が点滅する



- 機器を接続していないか再生していない状態で「OPT」、「HDMI」、「USB」を選んでいきます。
 - 音声信号のサンプリング周波数などが正しく入力できていません。
 - 接続を確かめてください。(⇒ 43、45、48)
 - 再生可能なフォーマットについて (⇒ 94)
-

天面のLEDインジケータのすべてと

前面の電源インジケータがしばらくゆっくりと点滅する

- 起動の準備や電源が切れる準備をしています。完了するまでしばらくお待ちください。
-

前面の電源インジケータがゆっくりと点滅する

- 以下の場合に、前面の電源インジケータがゆっくりと点滅します。
 - 「Auto Off」機能により電源「切」になる3分前(⇒ 70)
 - 「SLEEP」設定時(⇒ 71)
 - ファームウェアの更新（無料）が可能な場合
-

前面の電源インジケータが3回点滅する (3秒周期で繰り返す)

- プライマリースピーカーとセカンダリースピーカーが接続できていません。
- 電源を切/入して、再接続してください。(⇒ 29)

スピーカー同士の無線ペア登録を行う

セカンダリースピーカーから音が出ない場合は、両スピーカー間のペア登録が外れている可能性があります。(⇒ 77)
ペア登録は以下の手順で行うことができます。

- 1 本体の音量を0にする
- 2 本体の音量ボタンの [-] を押したまま、プライマリースピーカーの P/S CONNECT ボタンを5秒以上長押しする
 - プライマリースピーカーのすべてのLEDインジケータと電源インジケータが点滅します
- 3 セカンダリースピーカーの P/S CONNECT ボタンを5秒以上長押しする
 - セカンダリースピーカーの電源インジケータが点滅します。
- 4 ペア登録が完了すると、プライマリースピーカーのLEDインジケータと電源インジケータが2秒間点灯する
 - ペア登録が失敗すると、プライマリースピーカーのすべてのLEDインジケータと電源インジケータが素早く3回点滅します。両スピーカーの電源コードをコンセントから抜き、約3分後再びコンセントに差し込んだ後、手順1から再度ペア登録を実施してください。

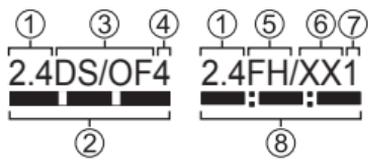
無線機能使用上のお願い

■使用周波数帯

内蔵無線機器は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■周波数表示の見方

周波数表示は、定格銘板に記載しています。



- ① 2.4 GHz 帯を使用
- ② 2.400 GHz ~ 2.4835 GHz の全帯域を使用
- ③ 変調方式が DSSS と OFDM 方式
- ④ 電波干渉距離 40 m 以下
- ⑤ 変調方式が FH-SS 方式
- ⑥ その他の方式
- ⑦ 電波干渉距離 10 m 以下
- ⑧ 全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避不可である

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：パナソニック
DIGA（ディーガ）・オーディオ
ご相談窓口（⇒ 97）

■機器認定

内蔵無線機器は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、内蔵無線機器に以下の行為を行うことは、電波法で禁止されています。

- 分解 / 改造する
- 定格銘板を消す / はがす
- 5 GHz 帯無線 LAN を使って屋外で通信を行う

■使用制限

内蔵無線機器の使用に当たり、以下の制限がありますのであらかじめご了承ください。

制限をお守りいただけなかった場合、および内蔵無線機器の使用または使用不能から生ずる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。

- 日本国内でのみ使用できます。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。
無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク（SSID：ネットワークを識別するための名前）が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
- 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。
次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなる場合があります。
 - 電子レンジ
 - デジタルコードレス電話機
 - その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く（ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など）
 - 電波が反射しやすい金属物などの近く
- 電波によるデータの送受信は、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。
- すべての Bluetooth[®] 機器との無線通信を保証するものではありません。
- 無線通信する Bluetooth[®] 機器は、The Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合している機器であれば、一部動作する場合がありますが、機器の仕様や設定により、接続できないことがあり、操作方法・表示・動作を保証するものではありません。
- Bluetooth[®] 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時にご注意ください。
- ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■使用可能距離

見通し距離約 10 m 以内で使用してください。

間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

- 放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。
- 無線 LAN を使用中に Bluetooth[®] 機器の音が途切れたり雑音が入る場合は、無線 LAN のご使用をお控えください。

■用途制限

内蔵無線機器は一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途※での使用を想定して設計・製造されたものではありません。ハイセイフティ用途に使用しないでください。

※ハイセイフティ用途：きわめて高度な安全性が要求され、直接生命・身体に重大な危険性を伴う用途のこと。

例：原子力施設における核反応制御 / 航空機自動飛行制御 / 航空交通管制 / 大量輸送システムにおける運航制御 / 生命維持のための医療機器 / 兵器システムにおけるミサイル発射制御、など

著作権について

本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、® マークは一部記載していません。



Wi-Fi CERTIFIED ロゴは、Wi-Fi Alliance® の登録商標です。



Works with Apple AirPlay バッジの使用は、アクセサリがバッジに記載された技術で動作するように設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定されたことを示します。

Apple、AirPlay は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

ワイヤレススピーカーシステムで AirPlay を使用するには、iOS、iPadOS、macOS の最新バージョンを推奨します。



Google、Google Play、Google Cast は Google LLC の商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Media, Windows ロゴは米国その他の国で米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。

本製品は、Microsoft Corporation と複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配付は、Microsoft もしくは権限を有する Microsoft の子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。

Mac および OS X は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パナソニックホールディングス株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

DSD はソニー株式会社の登録商標です。

FLAC Decoder

Copyright (C) 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009 Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Spotify ソフトウェアは、以下に記載のサードパーティーソフトウェアを利用しています。

<https://www.spotify.com/connect/third-party-licenses>

QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

ROON READY

Being Roon Ready means that Technics uses Roon streaming technology, for an incredible user interface, simple setup, rock-solid daily reliability, and the highest levels of audio performance, without compromise.

HDMI®

HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、Premium HDMI、Premium High Speed HDMI Cable、Premium High Speed HDMI Cable with Ethernet という語、HDMI のトレードドレス、HDMI のロゴ、Premium HDMI Cable の認証ラベルおよび Premium HDMI Cable のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

仕様

■総合

電源	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	40 W (プライマリースピーカー) 35 W (セカンダリースピーカー)
待機時電力 (ネットワークスタンバイ)	約 2.0 W (プライマリースピーカー) 約 2.0 W (セカンダリースピーカー)
寸法 (幅×高さ×奥行)	201 mm × 313 mm × 276 mm (プライマリースピーカー) 201 mm × 313 mm × 272 mm (セカンダリースピーカー)
質量	約 9.1 kg (プライマリースピーカー) 約 8.9 kg (セカンダリースピーカー)
許容動作温度	0 °C ~ 40 °C
許容相対湿度	35% ~ 80% RH (結露なきこと)

■アンプ部

総合出力	200 W (100 W × 2)	
	ウーハー	60 W
	ツイーター	40 W

■スピーカー部

同軸 2ウェイ (バスレフ 方式)	ウーハー	15 cm × 1 / ch、 コーン型
	ツイーター	1.9 cm × 1 / ch、 リング型

■Bluetooth® 部

バージョン	Bluetooth® Ver.5.1
送信出力	Class 1 (4 mW)
対応プロファイル	A2DP、AVRCP
対応コーデック	AAC、SBC
通信方式	2.4 GHz Band FH-SS
見通し通信距離	約 10 m*

* 温度 25 °C、高さ 1 m、「Mode1」(通信の安定性を重視したモード) の条件で測定

■入出力端子部

USB-C	タイプ C コネクタ
イーサネット インターフェース	LAN (100BASE-TX、 10BASE-T)
AUX 入力	ステレオ、Φ 3.5 mm
アナログ入力	PHONO (MM) (ピンジャック)
アナログ出力	SUBWOOFER OUT (ピンジャック)
デジタル入力	光デジタル入力 (光角型)
サポートフォーマット	LPCM
HDMI 出力 (ARC)	タイプ A コネクタ
サポートフォーマット	LPCM
P/S LINK	RJ-45 コネクタ Support CAT6A (シールドタイプ)

■USB 対応フォーマット

USB-C

USB 規格	USB 2.0 High-speed USB Audio Class 2.0、 Asynchronous mode
DSD コントロールモード	ASIO Native mode、 DoP mode

■Wi-Fi 部

規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac/ ax 準拠
周波数帯域	2.4 GHz band 5 GHz band
セキュリティ	WPA2™

■スピーカー接続

無線接続	周波数帯域	5 GHz band
	見通し 通信距離	最長 10 m
有線接続	P/S LINK	RJ-45 コネクタ Support CAT6A (シールドタイプ)

■再生フォーマット

本機は以下の再生フォーマットに対応しています。

- 本機では著作権保護された音楽フォーマットは再生できません。
- 本機が対応している再生フォーマットでも再生できないことがあります。
- 本機が対応していない再生フォーマットを再生すると、音声途切れたりノイズが出る場合があります。その場合は、本機が対応している再生フォーマットを確認してください。
- 本機はVBR（可変ビットレート）に対応していません。
- 2 GB を超えるファイルは再生できません。
- 接続している機器（サーバー）によっては本機が対応していないフォーマット形式を変換して出力できるものもあります。詳しくは、機器およびサーバーの取扱説明書をご確認ください。
- 本機と再生ソフトで、表示されるフォーマット情報（サンプリング周波数など）が異なる場合があります。
- 使用するPCやアプリなどによって、対応するサンプリング周波数でも再生されない場合があります。正しく再生できない場合は、PCやアプリなどの設定をご確認ください。

USB-C で音楽を再生する場合

	拡張子	サンプリング周波数	ビットレート 量子化ビット数
DSD	.dff .dsf	2.8、5.6 MHz	
LPCM		32、44.1、 48、88.2、 96、176.4、 192 kHz	16、24 bit

LAN（DMR：デジタルメディアレNDER）で
音楽を再生する場合※

	拡張子	サンプリング 周波数	ビットレート 量子化ビット数
MP3	.mp3	32、44.1、 48 kHz	16～320 kbps
AAC	.m4a .aac	32、44.1、 48、88.2、 96 kHz	16～320 kbps
WAV	.wav	32、44.1、 48、88.2、 96、176.4、 192、352.8、 384 kHz	16、24、 32 bit
FLAC	.flac	32、44.1、 48、88.2、 96、176.4、 192、352.8、 384 kHz	16、24 bit
AIFF	.aiff	32、44.1、 48、88.2、 96、176.4、 192、352.8、 384 kHz	16、24、 32 bit
ALAC	.m4a	32、44.1、 48、88.2、 96、176.4、 192、352.8、 384 kHz	16、24 bit
DSD	.dff .dsf	2.8、5.6、 11.2 MHz	

※ ネットワーク経由で音楽ファイルを再生する場合、本機が対応しているフォーマットであっても再生できる音楽ファイルは、ネットワークサーバーに依存します。たとえば、Windows Media Player 11 をお使いの場合、PCに入っているすべての音楽ファイルを再生できるわけではなく、Windows Media Player 11 のライブラリに登録されている音楽ファイルのみを再生できます。

注：上記の仕様は 2024 年 8 月現在の情報です。

予告なく変更されることがあります。変更内容については、下記のサイトをご覧ください。

jp.technics.com/support/

保証とアフターサービス

使いかた・お手入れ・修理などは

まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	() -
お買い上げ日	年 月 日

■修理を依頼されるときは

76 - 85 ページの「故障かな!？」でご確認のあと、直らないときは、電源を切り、電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

修理で持ち込みされる場合は、必ずプライマリースピーカーとセカンダリースピーカーをペアでご持参ください。

製品名	ワイヤレススピーカーシステム
品番	SC-CX700
故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。
保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **8 年**

当社は、このワイヤレススピーカーシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

転居や贈答品などでお困りの場合は、
次の窓口にご相談ください

サポート総合窓口

<https://panasonic.jp/support/>



DIGA (ディーガ)・オーディオ 使い方・お手入れなどのご相談窓口



フリーダイヤル
専用OK

0120-878-982

パナは キュウハチニ

受付時間

9:00~18:00 月~土曜日
(祝日・正月三が日を除く)

■上記電話番号がご利用いただけない場合
06-6907-1187

■FAX フリーダイヤル
0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03)3256-5444 Osaka (06)6645-8787

Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)



修理に関するご相談窓口



フリーダイヤル
専用OK

0120-878-554

パナは イイヨ

■上記電話番号がご利用いただけない場合
03-6633-6700



<https://panasonic.jp/support/repair.html>

- 掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はおお客様のご負担となります。
(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 上記の URL はお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくためのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社
パナソニックエンターテインメント
& コミュニケーション株式会社

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号
© Panasonic Corporation 2024

TQBM0972
M1024YY0